DRAGON COMICS



ISBN4-04-926037-9 C0379 P950E 定価950円(本体922円) 角川書店



悠久の風伝説 3

ファイナルファンタジーⅢより

●原作 寺田憲史
●作画 衣谷遊

Ⓟ DC-9-3 角川書店



DRAGON COMICS

ドラゴンコミックス



悠久の風伝説

ファイナルファンタジーⅢより

3

●原作 寺田憲史

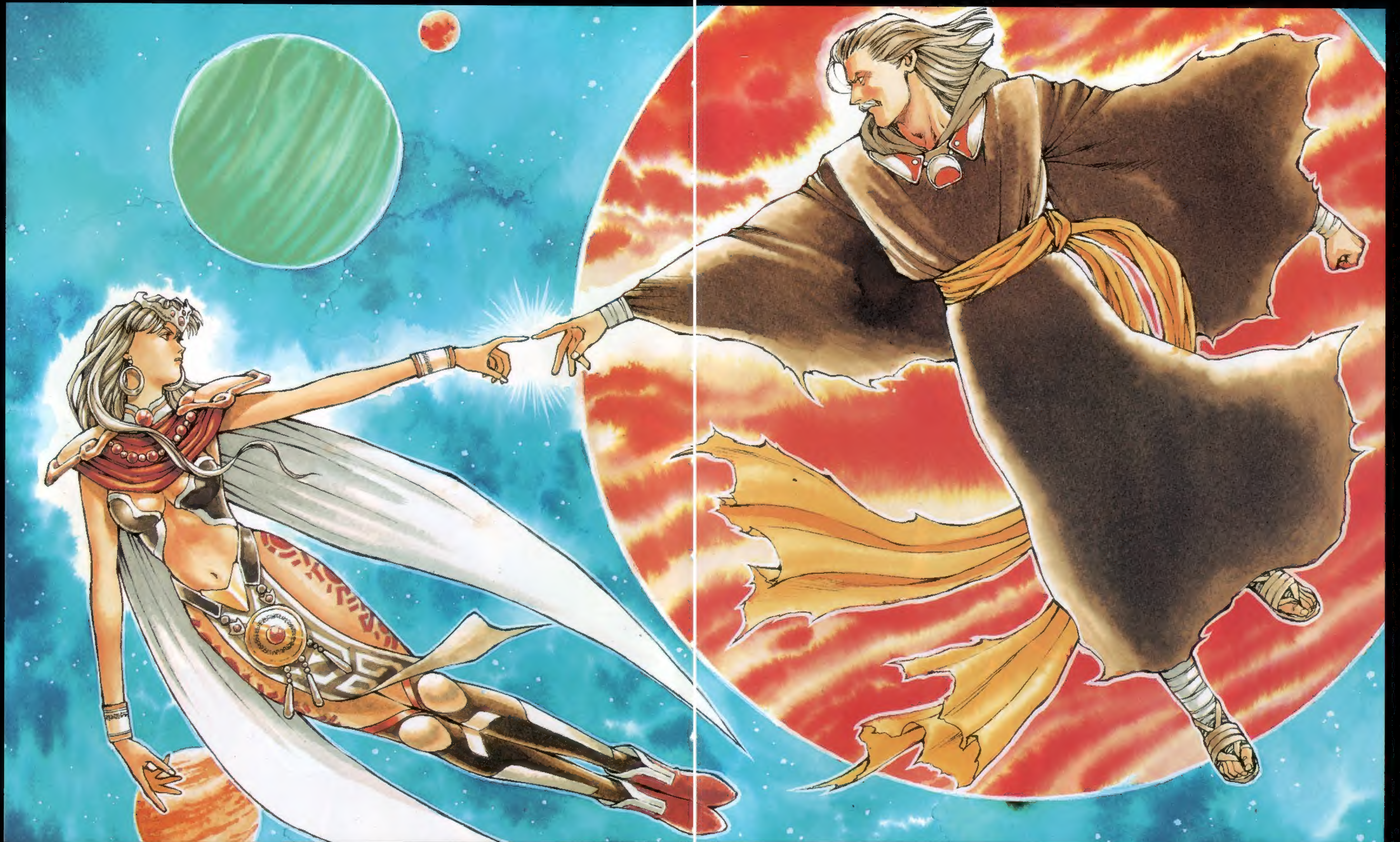
●作画 衣谷遊

Ⓟ
DC-9-3
角川書店

悠久の風伝説

ファイナルファンタジーIIIより











ドギュイアァ


うおおおおおッ!!
ゴゴ
ゴゴ


GAaAAA
うわァッ!!
かッ

オオ

ゴゴオオオオオオ

UGAAOoOOo

風（かぜ）!!!

おのれえ!!
このハインの召喚魔術に割り込むとは!!
何者だ!?
オォオ
オ
オ
風が…
俺たちの風が!!
魔人に働きかけてくれているんだ!!



ゴゴゴ
オォオ







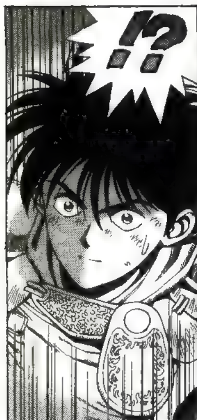
カタぁ
つけようぜ

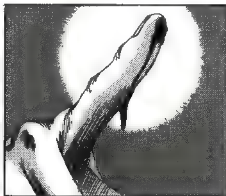
イフリート
さんよォ!!



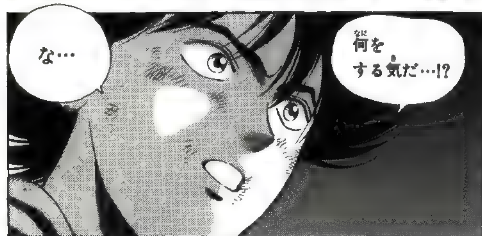
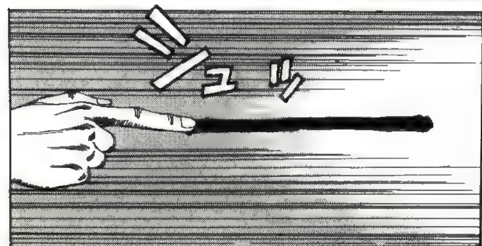





!?



ぴっ

ジュッ

何をする気だ…!?
な…

ジュッ

何のことだ
いったい…？
む…胸に十字を…



ザッ









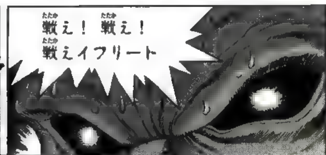
イフリート

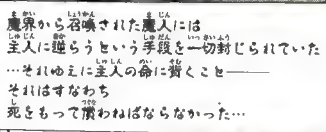
GUAAAAA


さあ立てイフリート!!
戦いを続けるのだ
イフリート


UGA!!

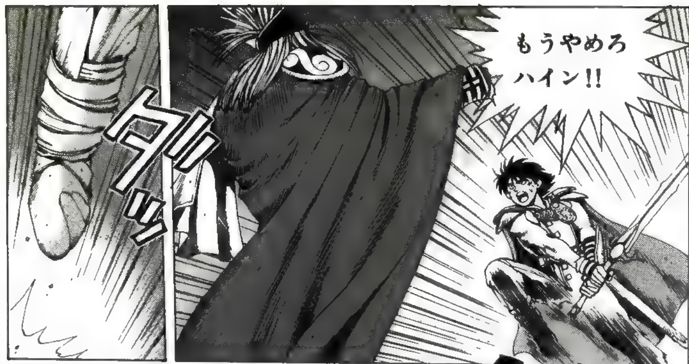



戦え! 戦え!
戦えイフリート


魔界から召喚された魔人には
主人に逆らうという手段を一切封じられていた
…それゆえに主人の命に背くこと――
それはすなわち
死をもって償わねばならなかった…


ハインの
野郎めェ…ッ!

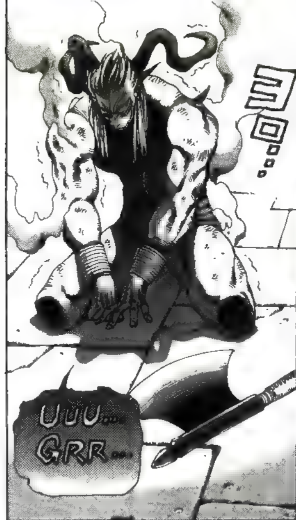

UGGAAAAAAA


もうやめろ
ハイン!!


だまれ
小僧!!




ぐわああ
ああああッ


ヨロ…
UUU…
GRR…


この私に召喚された
魔人の身でありながら
主人に逆らうとは…
ザワッ
ザワッ
ブンッ
ブンッ


馬鹿に
しおってェ!!
馬鹿にしおって…
馬鹿にしおって…
ブーンッ
ブーン

許さんぞ
イフリート!!
グオッ
ドコ




!
ザッ


てっ…
てめェ…
はあ…
はあ…


ぐふッ
ドッ

魔人に聞こえる風の声がてめェにゃ聞こえねェのか!!

てめェは魔界の連中以下だぜゲス野郎!!

ガッ!!!





なめるな!!
なめるなよ
小僧!!

ズズオオオオオオオ

このハインの
真の力を見た時!
きさまの命
すでに無きものと
思え!!

!!

!?

うわぁッ!!

ぬおおお
おおおお





イ…イフリートの
身体が…!?
ハインめ
何をする気だ!!

ジュオ
ジュオオ
ジュオォオオオ

召喚魔術奥義…
魔界現身!!

キュイイイ




オォ
オ
オォオ




ああ…
あ…あッ!!


ザザザ

ぬおおお
ああああ

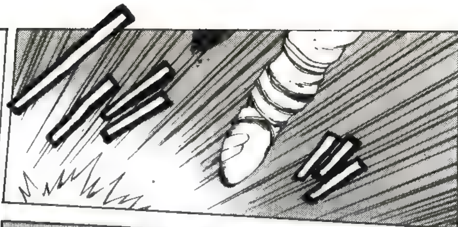
ズチャッ

ばっ…
ばけものめ!!


くくくっ…たった今
シヴァとイフリートは
このハインの中に
吸収された…
もはや私に
逆らうことは
不可能となったのだ
ゴゴ
ゴッ ゴッ
ゴッゴッ


——てェことは…
やつらの能力も
手に入れたってこった
ろうなやっぱし…
へっ……


ザリ
ザリ
くっくっくっ…
魔界で得し
呪われた邪力よ
この私にひざまずけ
ミシャッ
すべては我らが
闇の総帥のご意志
…再び世界を
狂おしい光あふるるものに
してはならぬて……
ふふふははははは
……
シャ!



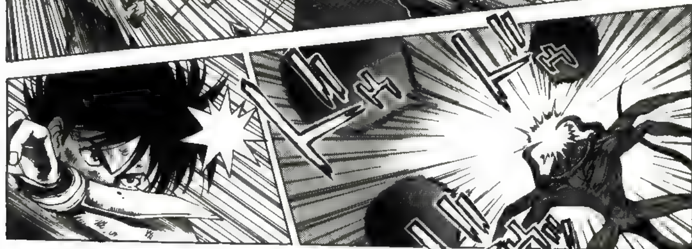
ふざけるなよ……
こっちはその光を
取り戻すために
ここまで来たんだぜ

ギッ!!



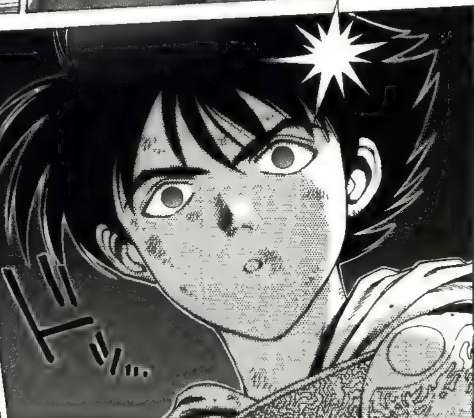



うわあッ
ちっきしょお
シヴァめ!!



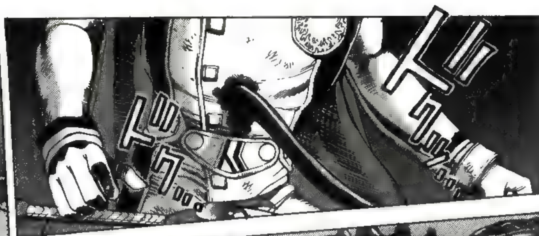

わああッ

ぐうッ!!




くッそお！


ぐ……
ぐふッ……

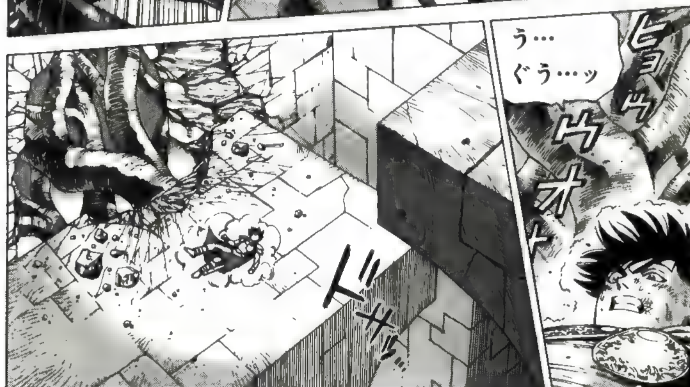


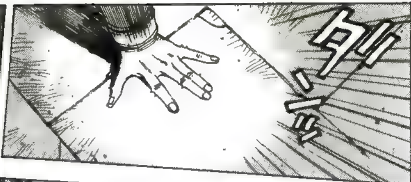



くくッ…

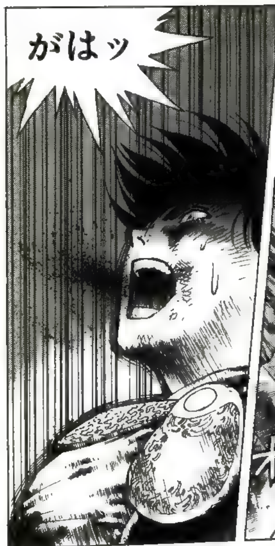

やる…ことが…
セコすぎんじゃ
ねェ…のか
えェ…? コラ!
で…
でけェ図体の
わりにゃ…

ぐあぁッ




ダリーンッ


ビョオオオ
な…何だってんだ
ちきしょお……
げほ
げほッ
げほッ
ぐぐッ


がはッ


し…
死んじまうのかな
……オレ…
へへへ
………
ガク
ガクgg
ガクggg


ボタ
ボタッ




ヒュ
ヒョォオオ
こんなもん
かもな…
案外…
こんな…
オォォ


!!


ザッ


……

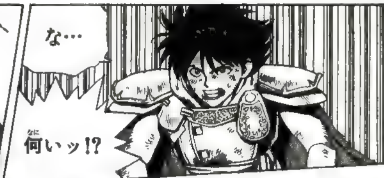

ち…き
しょう…ッ
グッ


ビーーッ!


ゴゴゴゴゴゴ
う……
ううッ…
ググッ…


ほめてやる…
ほめてやるぞ
小僧!
くッくッくッ…
このハインを
ここまで追いつめる
とは……
ゴゴゴゴ


あ…
あきらめる
もんか!!
ぎゅっ!


その根性に
免じて…
貴様に妖魔の世界へ
加わる光栄を
与えてやろうでは
ないか!!
ゴゴゴ
ぐはははははは
ははは!

な…
何いッ!?

ふははははは
はははは!!

うッ!!

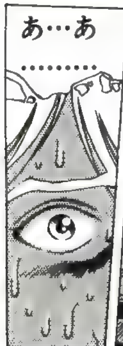
!?

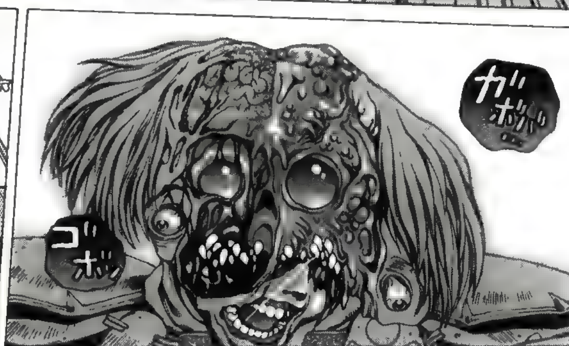

キュイイイイ
お……
オレが……!?


おお…
お…


ピクン
ピクッ


うわぁ!!
ゴバッ


あ…あ
………


ガボガボ…
ゴボッ







うわああ
ああああ




ぐぶぐぶ
闇の総帥に逆らえば
どういうことになるか…
とっくりと味わうがよい
ガチ
ガチ
ガチ
うう!
うわッ
うわあ!!


喰いつくされるのだ!!
ゴゴゴ
ゴゴ
ぐぶるる…
お前は
お前自身に
よって…

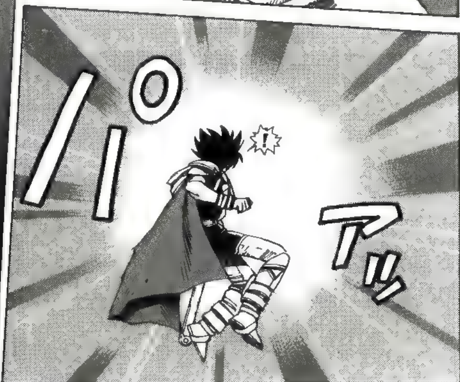
おあ
クリオーーーア!

くっくくく……
この程度の精神攻撃で参ってしまうとは…
少し買いかぶり過ぎたかもしれないな……
あ
ビクーッ!
おああああああ
ドチュッ!!
風の谷ウルにて、生を授かりし者よ聞け…


そなたの強き魂
冥府さ迷いし魔人
呼び覚ませし…
〈喪なる力〉をもって
そなたに
報いるものなり…


喪なる……力
……?
〈喪〉…すなわち
この世界の
成り立ちなり!


わからねエ
……それに
これ以上
この俺に何が
……


パ
!
アッ

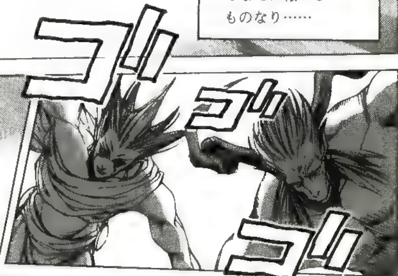
そなたの強き魂
冥府さ迷いし魔人
呼びさませし……



〈喪なる力〉をもって
そなたに報いる
ものなり……

ゴゴゴ





そうか
そういう
ことか…

この時ムウチは〈風〉が２人の魔人を
動かしたのだと思ったのだが、
すぐにそうではないことに気づいた…
２人の魔人は自らの意志でムウチに
助力しようとしていたのだ!!

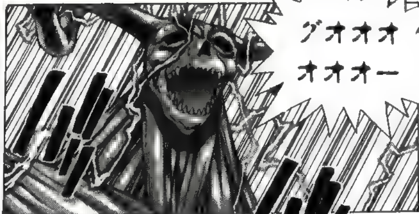


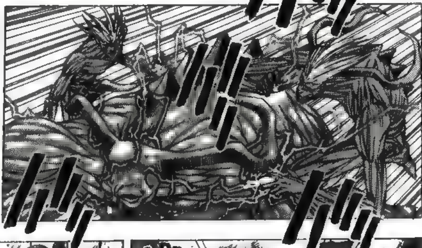









グオオオ
オオオー






シヴァ！
イフリート！
おのれえェ
えええ!!


はあ
早いとこ
やっちまわねェと
……こっちの体が
もたねェな…
はあ
はあ


ハイン
ターン！




全ての怒りをしっかりと受けとめやがれ！
ドヤッ！

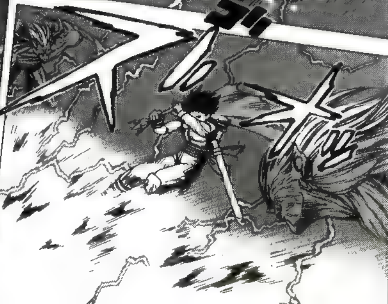

ゴゴ
シュッ
ゴゴ


古代人の怒り…
イフリートとシヴァの怒り…
俺と…俺の仲間たちの怒り……
ゴゴ


うおおおおお

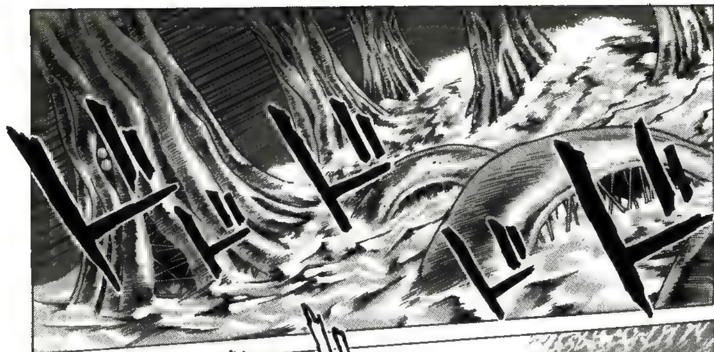

ダッ


くぎゃあああああああ
ゴゴゴゴ




ズン!


ドジャーン
おあ
あ
あ
ドガガガガガ
ドドド

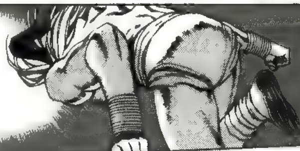

ドドドドドドド

ああ
あ
あ
ザバーッ

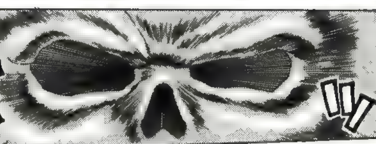
シヴァの氷が溶けて…すげェ勢いで流れてやがる…！
ちぇッ…もう泳ぐ力も……残ってねエや……

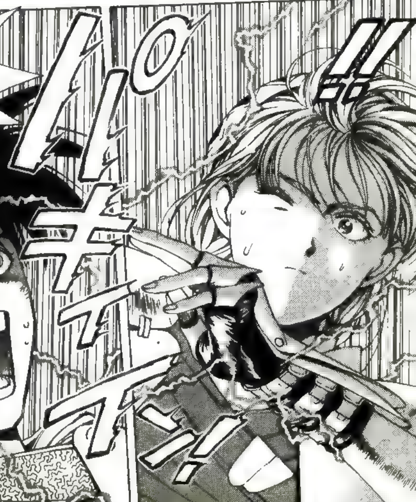

ゴボ
ゴボッ
ゴボッ
ドドドド
ハッ
ザバァッ!

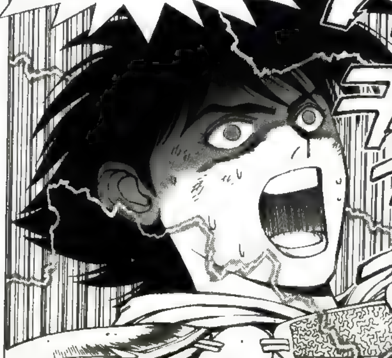

シヴァ…
イフリート…
世話になったな
……

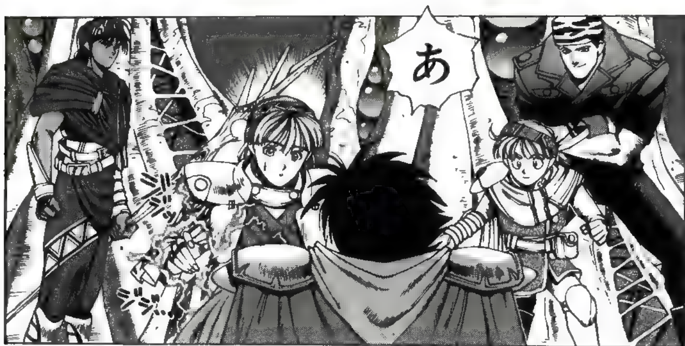


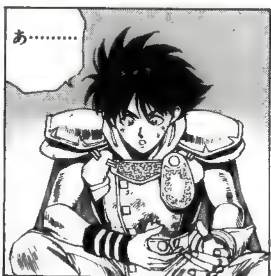
何だよ…
行っちまうのか
……


ドォッ


!!
パキィィン!!


うわあああああ
あああッ!!


あ


あ………






み…
みんな!!

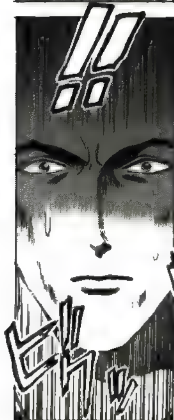

よッ
大将!!
きッ………
しししし!

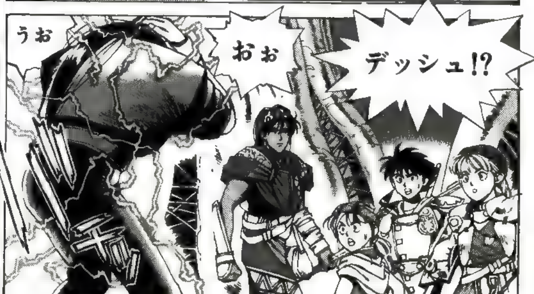

傷はもう大丈夫よ…
お疲れさま
ムウチ……


助けて
くれたんだ…
シヴァと…
イフリートの奴…
ハインを
裏切ってまでな…








うお
おぉ
デッシュ!?

ダッ
うおお
どうした
デッシュ!!






きッ…樹が襲ってくる!!
いや！そんなはずはねェ!!
スチャ!
待ってボウイ!!樹は襲ってはこないわ!!

感じるの…

あの時……
——生きてる樹が
私を解放してくれた時
のように……

彼らがデッシュに
何かを知らせようと
しているような……

——そんな
感じがするのよ！

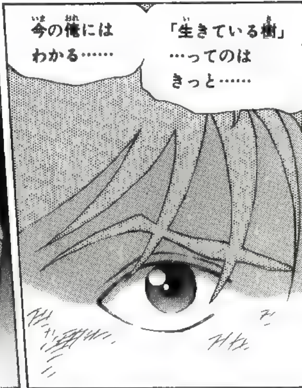



バリバリッ
バシュ！


!?


古代人の剣が……
デッシュの進んでった方向を指し示している……


ブーン
ブーン
ブーン


今の俺には
わかる……
「生きている樹」
…ってのは
きっと……

古代人たちが
その想いを……
託した剣なんだ

古代人の
剣だと？

追うぜ
デッシュを!!

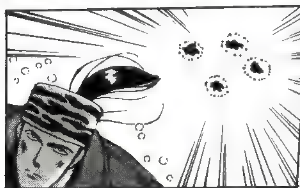
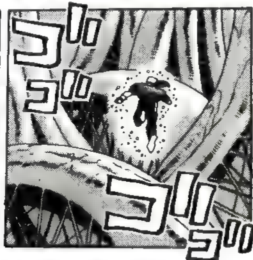
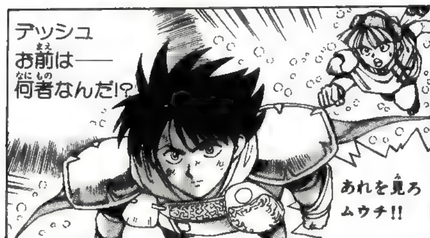
古代人たちの
……

眠れぬ魂
そのものなんだ！



ギュオ

オ

オ
オ


ゴゴ
ゴゴゴ

デッシュ
お前は——
何者なんだ!?
あれを見ろ
ムウチ!!



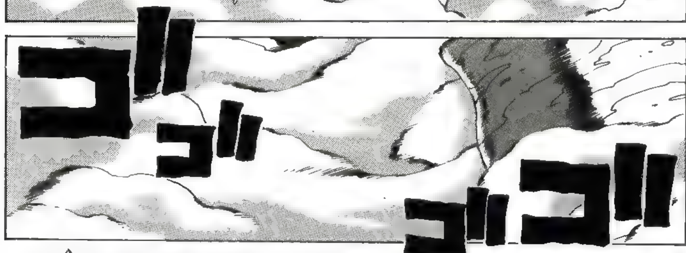
きゃああ
ああああッ

どうした
メルフィ!!






ゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴ


ゴゴ
ゴゴ


あ……
…あ…
……!!!?
ゴ
ゴゴ


!!
ゴ

ゴ
ゴ



お…
俺たちって
…


もッ…
森の真下に
……

い…
いったい……

海が!?

どこに
……
いるんだァ
……!?


ゴゴ
な…
なんだこの…
画像は!?
ゴゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
!?
キィィィイイイ──ン!
きゃ…
わッ
ううッ


ゴ
ゴ
ゴ

うわあッ!?

パキイィン

おッ…
俺たちの世界の下に…
ももッ…ももも…も

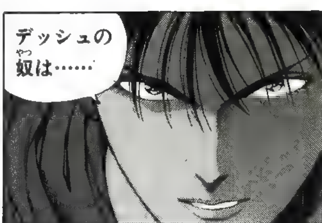
み…
見たか…ッ

今のは…!?

もう1つの世界が
……ッ

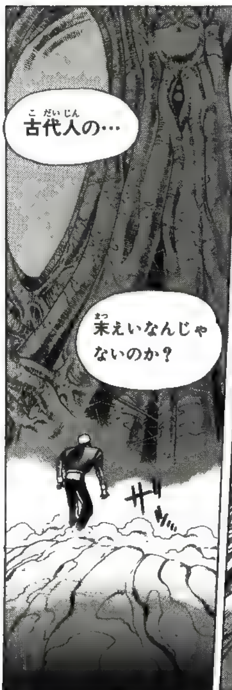
そッ
そんな…!?

ひょっとして…


デッシュの
奴は……

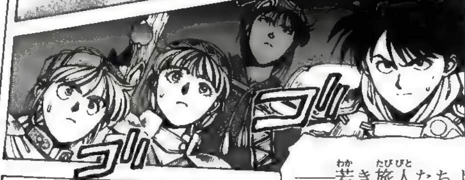

!?


ゴ
ゴ
ゴ


古代人の…
末えいなんじゃ
ないのか？
ザ


ゴ
ゴ
ゴ
ゴ


なッ…何だって!?

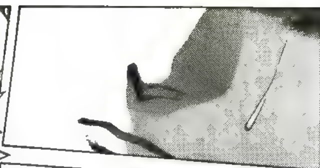

ガッ
ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
——若き旅人たちよ
驕るではない………
ゴゴ
そなたたちの歩み
健脚にして状大なれど
…決して神の創造せし
〈宇宙〉！…制する
ことは無い…
ゴーゴ
バシュッ
バシュッ

ゴゴ
世界には
〈喪〉ありき…そして
〈無限〉なり…!!
ゴゴ
ゴ
それ故に我等の
〈風〉〈火〉〈水〉〈大地〉
……その均衡を
崩せし時……
ゴ
ゴ
世界は
神もおそるる
邪悪の闇に
包まれるなり!!
ゴゴ


カッ!

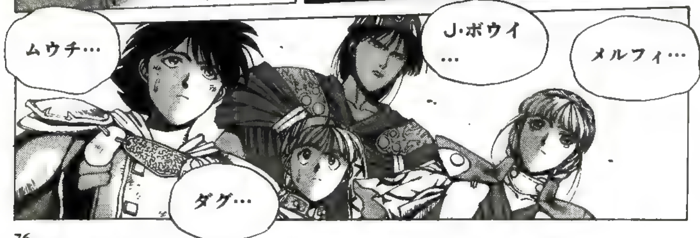


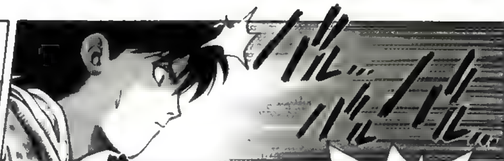
今のは…俺たち〈古代人〉といわれる一族に伝わる詠だ
思い出したよ
全て…
俺たちはこの〈風の大地〉の防人だったんだ
〈母なる大地〉はこの下にある
〈風〉は予期していたんだ…
——世界の均衡が破壊される時を！
だからこの〈風の大地〉に人間を送り込んでいたんだ
お前たちは今こそ…
〈母なる大地〉に帰らねばならない
デ…
デッシュ！



〈母なる大地〉へ帰る…
どッ…どういうことだデッシュ!!

俺はどうやら…
お前たちにめぐり会うために生き延びていたらしい…
感謝している……
……

強大なる悪魔に…我らは滅ぼされた…
ハインなどはただの小悪党にすぎん…

メルフィ…
J・ボウイ…
ムウチ…
ダグ…







〈風〉はいつでも
お前たちの味方だ

ゴゴゴゴ

しかし
忘れるなムウチ！

悪魔は
……

〈風〉のすき間を
ぬうようにして
忍び込んでくる
ことを……

〈風〉！〈風〉!!

〈風〉は
いったい…

教えてくれ
デッシュ!?

ゴォ ゴゴ

デ…
デッシュ!!

サヨナラ

お別れだ

ゴゴゴ

ゴゴゴゴゴゴゴ

キュイイイイイイイイ

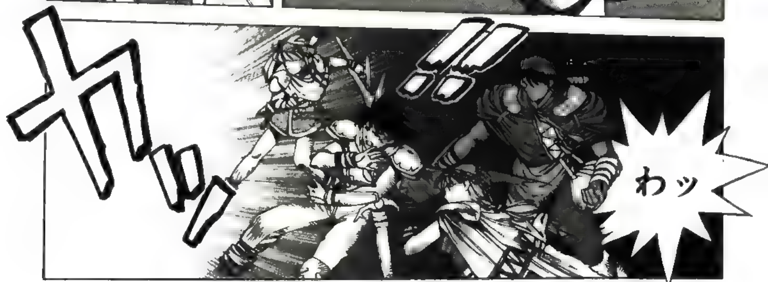
忘れるな
ムウチ…

悪魔は風のすき間を
ぬうようにして
忍び込んでくる…

忘れるな…

行っちまった……

デッシュ……



吸い込まれる——ッ!!

じょ…
女王の樹が
光に包まれて…

ゴゴゴ

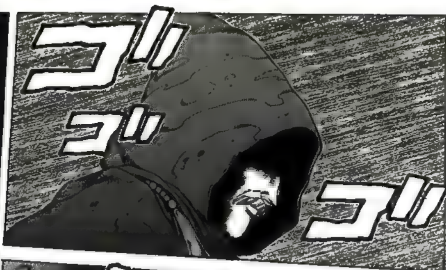
ゴゴ

ゴゴ

わあああああああッ!!

ゴゴ

ゴゴ


ゴ
ゴ
ゴ


ゴ
ゴ


ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

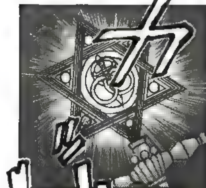
選ばれし戦士たちよ…
悠久の時を越え
〈母なる大地〉を
踏むがいい……
願わくば……
そなたたちの魂が
この荒涼たる世界に
打ちひしがれぬことを
…祈る……
…祈る！


ヒュルルルルル…
バタ
バタ
バタ


ヒュル…




バタタタ

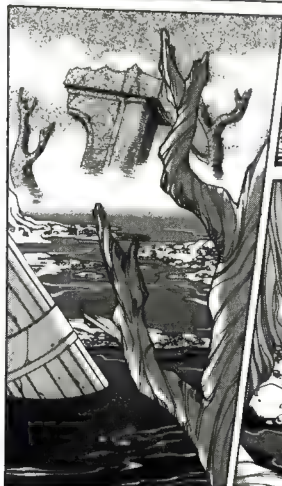

カ


ドドド

ドォオオオーン!!

〈風〉が
その想いを託し…
今〈母なる大地〉に
降り立ちし
若者たちよ…

その姿は見えず
とも…
私には感ずることが
できる…

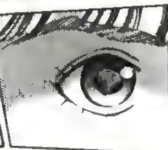





ガボッ
ガボッ
ガボッ
ガボッ


こ…
ここが…

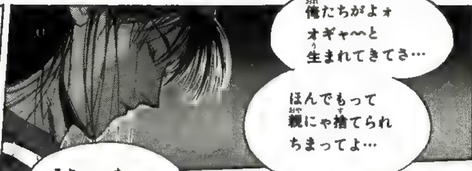





母なる…
大地…!




浮遊大陸
……
私たちの世界が
…あんなところに
あったなんて…


俺たちがよォ
オギャ〜と
生まれてきてさ…
ほんでもって
親にゃ捨てられ
ちまってよ…


そりゃ　ま
いいんだけど…
同じような
仲間が集まってさ
んでケンカしたりさ…
過ごしてた世界が
さァ……

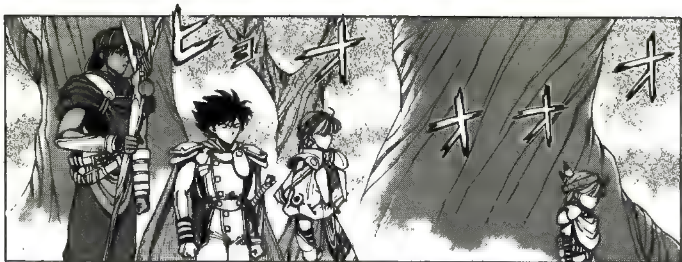

あ——んな
ちっぽけなもん
だったなんてさ
…ははは


はは…
まいったね
ホント…


はは
………


は…
人間なんて
さ…
ちっぽけな
もんだぜ…


笑っちゃうじゃ
ねェか!
あっははは
はははは


ヒョオ
オオオ

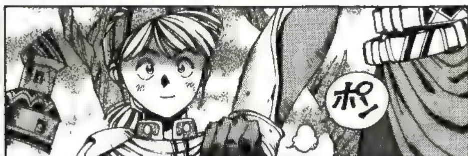

お……


俺たちは……
たしかにちっぽけかもしれねェ…
けどよ…


どんなにちっぽけな世界でもよ…
やつらの好きなようにはさせねェ!!
きっちりおとし前だけはつけてやるぜ!!




ーーん!


ポン




風!!


風よ
教えてくれ
俺たちは
どこへ行けば
いい!?
ゴゴ
ゴゴ

ヒュン ヒュン ヒュン

ヒュ

ぶーんっ!!

タッ!!







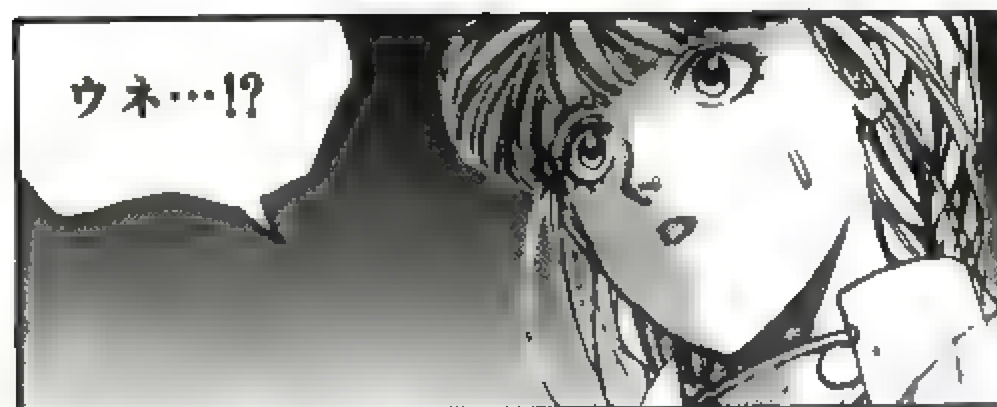
行くぜ!!

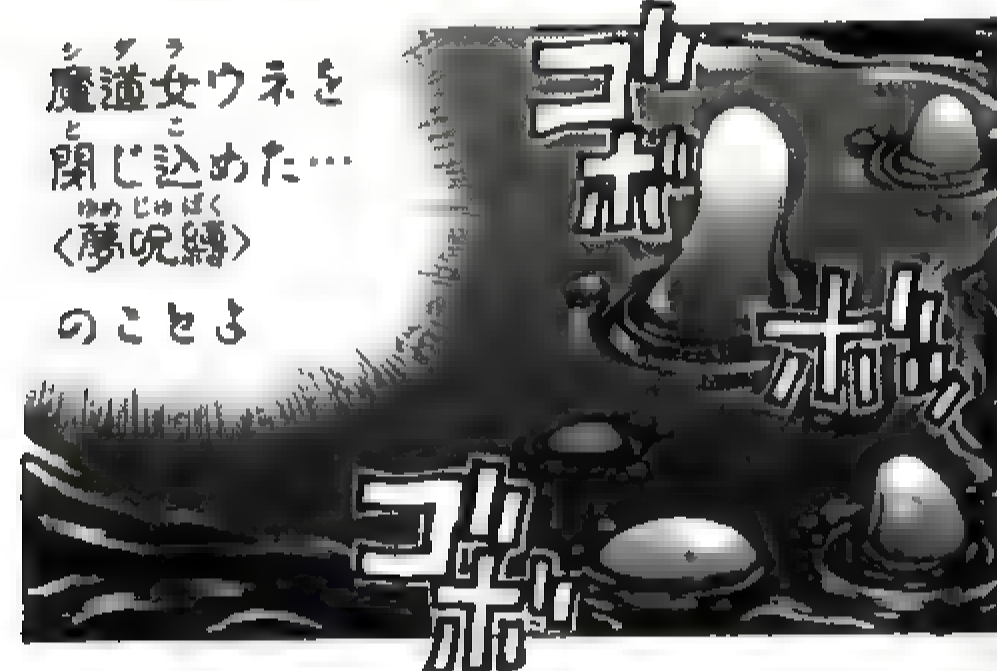
グッ

スチャッ

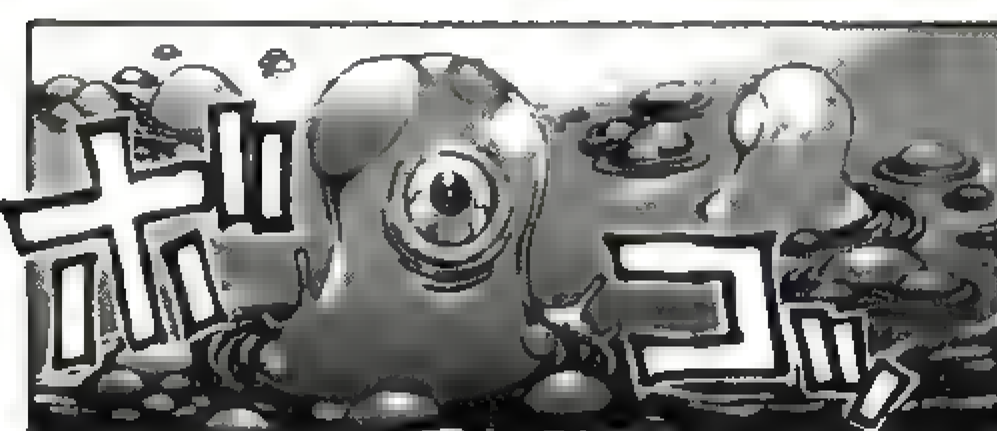

くくく…
あなどるではない
小僧ども!!
ビクンッ!


貴様らなどに
ザンデ様の
封印が
解けるものか!!
だッ…
だれだ!!
〈ウネ〉さ
……
ボゴゴッ
ボゴッ
くっくくく
……


ウネ…!?


魔道女ウネを
閉じ込めた…
〈夢呪縛〉
のことよ
ゴボ
ボゴッ
ゴボ


夢…呪縛
…!?


ボゴ
ゴッ

わああッ!!
グォオォ


ゴボオオ
ゴボボォ
ゴボボオォオ


な…何なんだ
こいつらは
……ッ!!
うあッ!?
ぐっ!!
きゃああ
!!

ゴゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ



長生きしたければ
この俺には近寄らぬ方が良かったな…
ゴゴゴ
つあッ!!
久しぶりだぜ……
こういうのって……
ひゅるるる~
ミシャキッ!
ゴボッ



わわわわ
ボウイぃ!!
何のんびり
してんだ
よォ!!

うひッ

ふんッ!!

ゴゴ
べろん
ドンッ
ドンッ
ドドッ




うええ
〜〜〜っ
ぺっ
ぺっ


わッ！


なッ
なんだァ
!!
ぶッ




ああァッ!!


ボウイ
!?


どうしたのボウイ
大丈夫!?
なんだなんだ
オイ!?
しっかりしろよォ
しまった
……
どうせなら
メルフィの方に
倒れれば…
はあ
はあ

マズイぜボウイ！あいつらすぐに復活しやがる!!

だろーな…………

え？

なッ…
何だって…!?

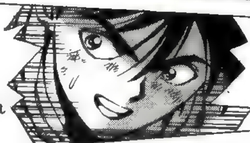
やつらめ…
はあ
俺の黒魔術を受けるたびにその術の〈力〉を手前のものにしてやがるらしい…
はあ
はあ

——伏せな メルフィ！

ヘッ…下種な面構えのクセしやがって…案外たいしたタマかもしんねーゼェ!!

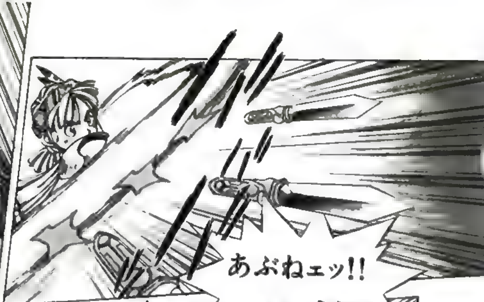
えっ？

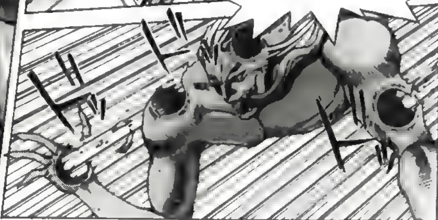

ドボッ


気ィつけな
メルフィ
白魔術の種子が狙われてるぜェ!!
なんたってまだ成長の途中だからよォ！


せっ…
成長の途中だなんて…
あたしの白魔術だって…


ガボ


あぶねェッ!!



ゴボッ

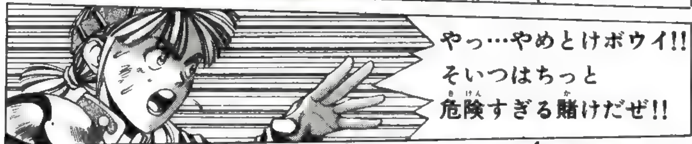
ゴボボ

ちょ…
ちょっと！
変なところに
顔置かないでよッ！
むぎッ
……
なるほど
成長…途中
…でもねェか
…むぐぐッ

わッ
きやッ

はあ…
はあ…
おのれ…
こうなったら
……
きゃッ!








行けェ!!
ボッ


ズアッ
きゃッ
うわぁ!


ドドドドドドドドド

!!

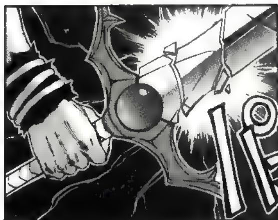


ゴゴゴゴ

くっくっくっ…
私にはザンデ様の〈お力〉が宿っておる…

ウネも…そして
ドーガをも封じ込んだ
〈お力〉に貴様らなどが
かなうはずもないわ

ゴゴゴゴゴ


わッ!?
ムウチ!!

パキィィン!

こッ…
古代人の…
剣がッ!!!

お…の
…れッ…

サーレイハム・
…ザンデ…
サーレイハム・
ザンデ…

は…

サーレイハム・
ザンデ!!
ふふははは
ははははは


ぐぎゃあああああああ
な…何だ…!?
あ
カッ


ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン
ゴオン

やっほー！
見つけたぜェ
ムウチぃ!!

でかしたダグ！
なかなかいいもんが
そろってんじゃ
ねーか！

ちょっと！
勝手に持って
きちゃって
大丈夫!?

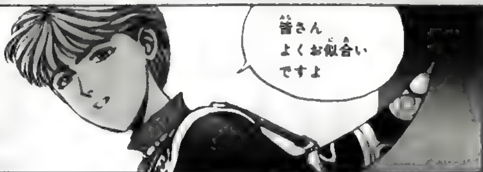
いいさ！　あの…
何つったっけ？
王子様ってのが
何でも持ってって
くれって…

おいボウイ！
横取りは
ずるいぜェ!!

——だまれ
こーいうのは
俺にしか似合わん

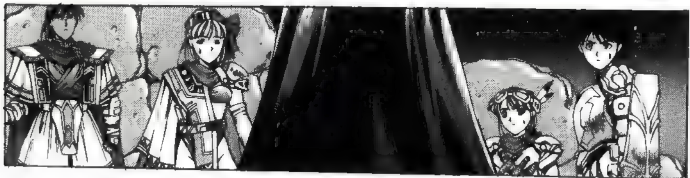


よッ
お待たせ王子様！
へへッ…

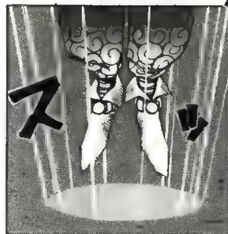


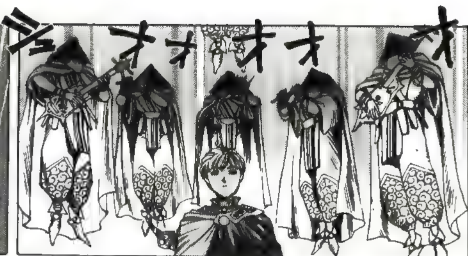

あの…
い…いいのかしら
お城のものを
私たちに…
こんな……

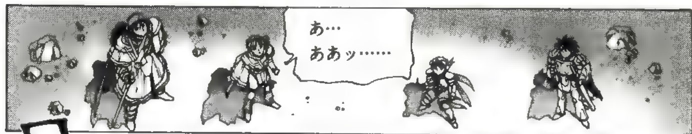

よいのです…
それらを
身につけるべき
者たちは…
もはや
この城には
1人もおりませぬ




とッ…
とにかくさ！
事情ってやつを
聞かせてくれよ！
ここで一体何が
あったのか……
チャッ
―わかりました
チャッ


スッ

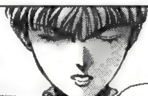

ジュオオオオオ


あ…
ああッ……

ヤッ





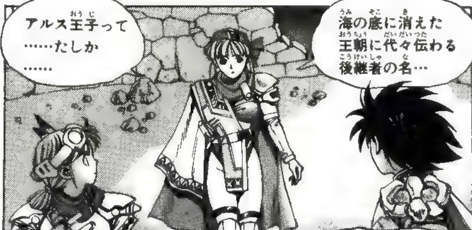


魔道女ウネ殿の使いで参った者……

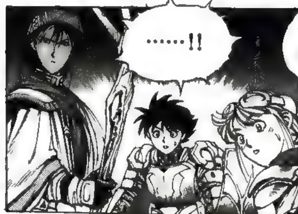
そなたたちをお待ちしておりました…




ア……


アルス王子って
……たしか
……
海の底に消えた
王朝に代々伝わる
後継者の名…


それは子供の頃
母が読んでくれた
童話の中での話
だったっけ……


――ごめんなさい
わたしったら……
……!!


それは
間違いなく
この私の国の
お話です


いえ

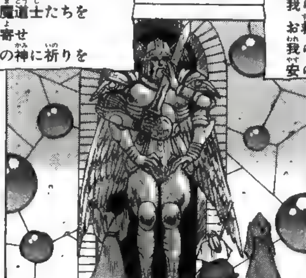

私の父も母も
…それに兄弟
たちも…
この荒れた大地の
果てに広がる海に
沈んでしまったのです

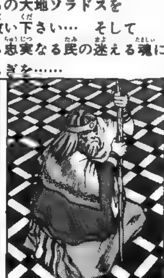

な…
何だって…!?


それは
突然にやって
きました…
はじめ私たちは
少しだけ大きな地震が
襲ってきたのだと
思っていたのです…




父はすぐに
城の魔道士たちを
呼び寄せ
創造の神に祈りを




我らの大地ソラドスを
お救い下さい… そして
我ら忠実なる民の迷える魂に
安らぎを……

お望みとあらば
…
この王の全霊を
捧げますゆえ…



私が聞いた
童話と……
まるで同じ…!?

お…

同じだわ…

しかし異変は
おさまることなく
続き……

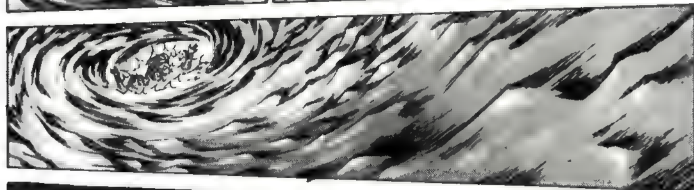
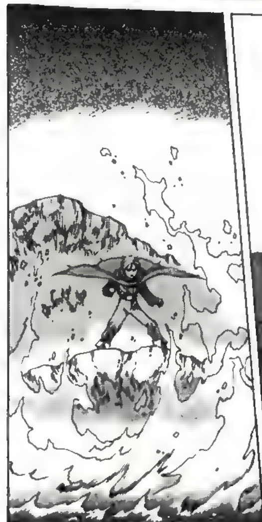
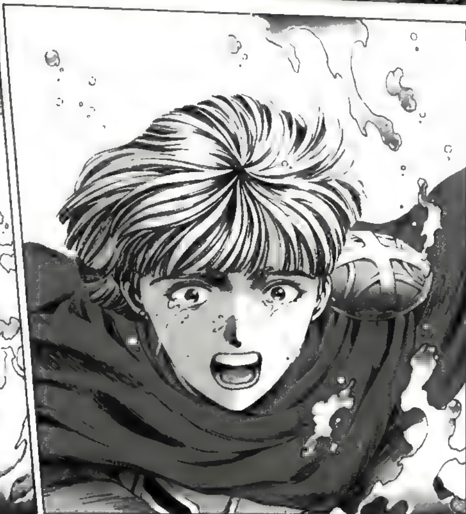
まるで悪意を
むき出しにした
妖鬼のように
我らの城を
飲み込んで…


ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ


ゴ
ゴ
ゴ


ゴ
ゴ
ゴ










お……


同じじゃねーか！
俺たちの……
あそこに浮かぶ
浮遊大陸に
起こったことと！
そっくり
同じじゃ
ねーか!!




ゴウン
ゴウン
ゴウン


でもよ…
どうして
なんだ？
このアルス王子の
身の上話が何故
メルフィがガキの時
読んでもらった
本の中に……？


それは……

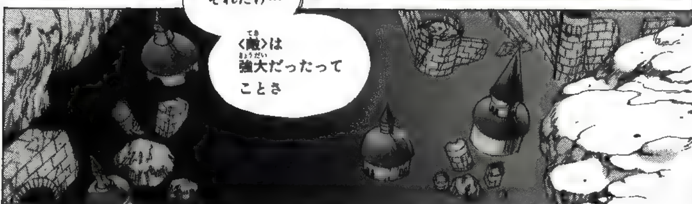

おそらく…
!


誰かが知らせようとしたのかもな…
時空を越える手段でもって…


何!?


近い未来この大地と…


そして俺たちの大地を襲うことになる…
真実を！


それだけ…
〈敵〉は強大だったってことさ


アルス王子！
魔道女ウネの使いだって
言ったけど
その人は一体どこに
居るんだい!?

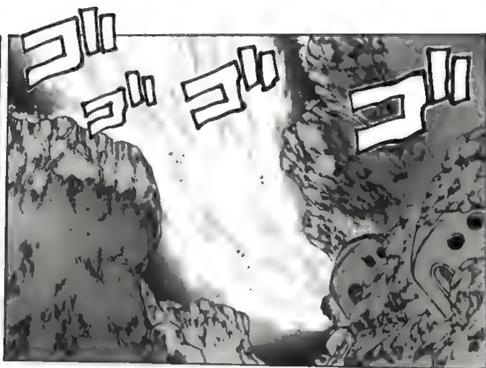
………

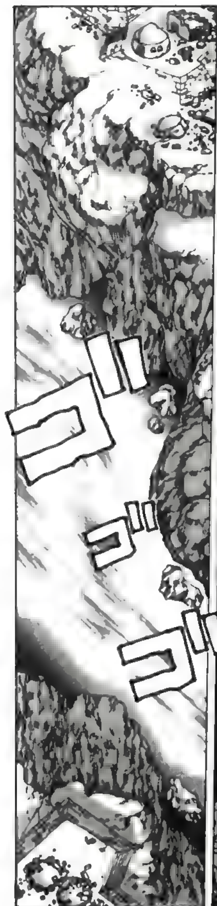
ウネ殿は
……
この世界の
均衡を保つべき
ものの下に
封じ込められて
おります…

そう…
ウネ殿は
4つのクリスタルの
ひとつ…
〈水のクリスタル〉に
胸を射抜かれて
おいでなのです！

ク…
クリスタル…!!

何だって!?


ゴゴゴゴ


ゴゴゴ


ゴゴ
ゴゴ
ゴ


ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
ゴ
ドドドドド…
ドドドドド…

ザッ

ザッ

はあ

はあ

疲れるってことを
知らねェのかよ……
もうかなり長いこと
すいすいと飛ぶように
歩いてやがる！

そ…
それを
言うなら…

はー

ひー

なんせ本当に
飛んでるん
だからよォ……

王子を導いてる
あの…
吟遊詩人たちさ

はあ

はあ

はあ

ゴオオオオオオ

ドドドド…

キュオウン！

ヒュイイイイ

なんだか…気のせいか
ここの空気
すごく重苦しい気が
するぜ…

そうね…
まるで私たちを
拒んでいる
みたい……

母親に
そっぽを向かれた
子どもみたいな
気持ちだわ…







きゃあッ!?







ガラララ…

あんた…
いったい…!?

お……
王子……？

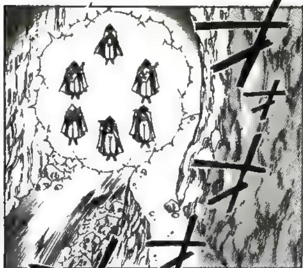

いつの
間に…!?
い…

魔術師など
では
ありません…
ご覧の
通り…

わたしは魔道女ウネの使い……

敵の夢呪縛を唯一逃れた〈夢子〉に過ぎません…

ゆめ……こ…？





もうあなたたちが自力で進むのもここまでが限度でしょう…

ゴォォォォ





何…だって
……!?

魔力…!?

では…
さっきからの胸を
締めつけるような
圧力は…

敵かッ!!

ウネ殿は白魔術の究極の秘術
〈夢宇宙ノ祭〉を究めた魔道女
……敵がその方を逆に
夢呪縛という白魔術で封じる
からにはそれ相応の魔力を
放たねばなりません

つまり
このあたりには
……

その魔力が
充満してるって
わけだ…

そうです
ウネ殿は…

夢呪縛に落ちる
寸前に…
私に問いかけて
きたのです

「そなた妾の
〈夢子〉…

務めては
くれぬか？」
と…

〈風〉がもう
もう時間が無いと
告げています…

かッ…
風!!

急ぎ
ましょう!!

うわぁ!!

きゃあ!!

ゴゴゴ
ゴゴゴゴ
い……急げったって……
どうすりゃいいッ!?
ズオオオオ
カッ
ドドド
うわあアッ!!
こっ…これは!?
ドガガガガ
俺たちを捜し当てたんだ!!
敵だアッ!!


〈夢子〉は
ウネ殿が放つ
唯一の生気!!
わたしがあの詩人たちの
詩に守られて
動いている間は
敵が襲ってくることは
ありません…
しかし!


あなたたちのように
〈風〉の意志を受けた
戦士の息づかいが
波立って霧になれば…
彼らは決して
見逃すことは
ないでしょう!


ウネ殿とかいう魔道女
から授かった力で
俺たちの存在を敵に
知られないように
してくれてたってわけ
か…!
なるほど…あんたが
多くを語らなかったのは
そのためか……


──この世から
消えちまいそうな
顔してるぜ!
何をする気
なんだ
アルス王子…
あんた
……

ちきしょう!!

きゃあッ

今こそ〈夢子〉としての
務め！
この命をかけて
はたさせて頂く!!

私はどうせ
水の中に
命を埋めた身…

〈風〉に選ばれし
戦士たちよ…



ドド






あァッ……
ドドドドドド
ドドドドドド…

水…!?
水柱の…中なのか…!?
アルス王子は…
いないわ…詩人たちも……
いや…王子はいる……
ご心配にはおよびませぬ…これより敵の放った夢呪縛の…
!!
たったひとつのすき間を抜けます……
すき…間…!?
〈夢子〉である私の使命とは…私の〈存在〉そのものを貴方たちに重ね合わせることなのです！
そ…そんなことをしたら
──王子は……
消滅する!!
そんな…
いけないわ王子!!


しッ…下を見ろォ!!
ク…クリスタル!!
ゴゥン!
ゴゥン
ゴゥン
ゴゥン!!

わあァッ

魔力が回復してゆくのを感じるぞォっ!!

なッ 何だァ!?

いやはァッ! ついに解放されたかッ!!

わあッ!?

そうとなれば いつまでもこんな老いぼれた肉体でいることはない



じゃじゃ〜ん!
ジュオオオ
はあ〜〜〜ッ
やっぱ肉体は若いのに限るわねェ なんたって張りが違うわ! 張りが!!
魔道女…ウネ…!?
まっ…まさか…
……


いかにも…
私は魔道女ウネ！


ア…
アルス
王子…？


死者を…
2度も起こすような
ことをしてはならないわ


およしなさい!!


2度…!?
しッ…
死者…？


そして
乞うたのです…
——私は…
「夢呪縛」の中に
落ちていきながら
暗黒の中に王子の迷える魂を
見つけ…


——そう


ゆ…
「夢子」に
なることを…


私は王子の身に
私の生気の全てを
吹き込んでから……
自らを深い眠りの中に
落としたのです
——それが唯一
夢呪縛にすき間を
作る手段だった…


……お…
王子は…!?


——夢の無い…
眠りの中に
います…


要するに…
死んだって
ことだな……

——とうの昔に
王子は亡くなられて
いたわ…
人間は
死んでも夢を
見続けるもの…
楽しい夢もあれば
狂おしい夢も
ある……

ならば
夢の無い眠りを
差し上げることこそ……
王子の
憎しみに彩られた魂には
何よりの安らぎとなると
…私は思うわ……

スッ…





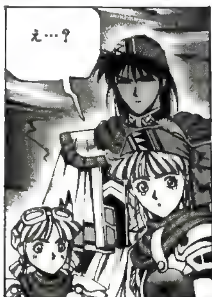

ス…

シュ
ッ!

お…
同じだ!



……
王子…!

アルス王子も
俺たちが来るのを
待ってたって
言ってたけど…
だって
そうじゃ
ねェか!

え…?

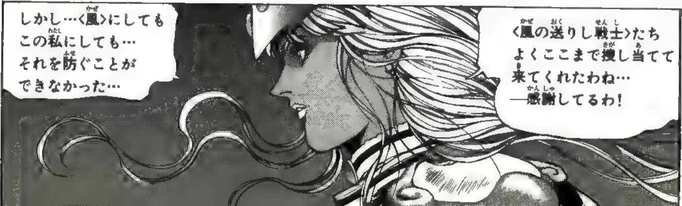

あのディッシュ
だって……
奴だって…
古代人の末えいで
俺たちに母なる大地が
あることを知らせるために
生きてきたんじゃなかった
か!?


そ…
そういえば…


アルス王子の身に
降りかかったことが
私が幼い頃
読んでもらった童話の
内容と一緒だった
ことも…
確かに…


全ては〈風〉が…
とうの昔に予期したこと!


ええッ!?


〈風の送りし戦士〉たち
よくここまで捜し当てて
来てくれたわね…
—感謝してるわ!
しかし…〈風〉にしても
この私にしても…
それを防ぐことが
できなかった…



か…〈風〉の…
送りし…戦士!?



悠久の昔
〈風〉はきたるべき
ことを案じ……
あなたたちの
生まれ育ったあの
異世界を作ったの



それでか…
メルフィが
未来の物語を
知っていたのは…



魔道女ウネ
……
聞かせてもらおう
じゃねェか…
あんたと〈風〉が
知ってること…
そして…

〈風〉が今
どこにいるのかって
ことをだ!!

――もちろん
だわ……

〈風〉は

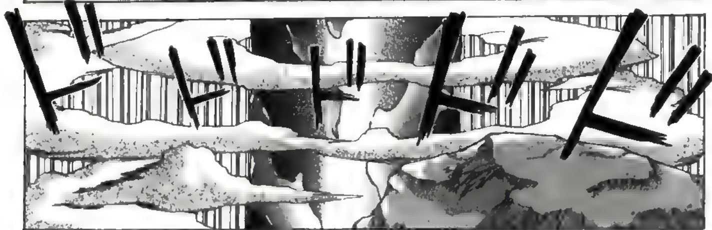
それをあなたたちに
知らせるために…
この私を夢から
覚まさせたのだから
……

〈風〉の名は
…

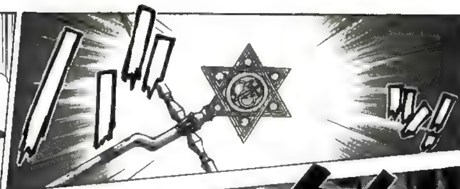
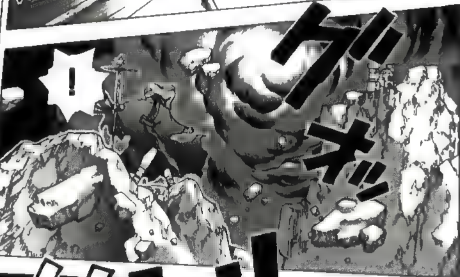
ドーガ!!


ゴゴゴゴゴゴ
カッ

ドン




ウネよ…
――時は来たり!!
ドドドドドドドド



時は
来たり

おおおお
おおおお!!

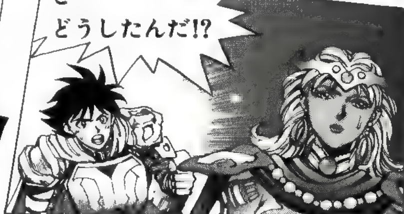
このドーガの結界を……ッ破りおったかあ!!!

「邪悪」めがッ!!

カッ









──違うわ…
ドーガと私を憎み…
そして…
〈闇に棲むものたち〉と結託した男のことよ……
キュ
オオオオ

う……

な…何だ…？

なんか……

眠…い……

ウ…ウネ…

何を…

〈風〉の選びし
戦士たちよ…

そなたたちに
全てを語る時間は
もはやない…

キュ

わらわの夢魔術に
その身を
委ねるのだ…

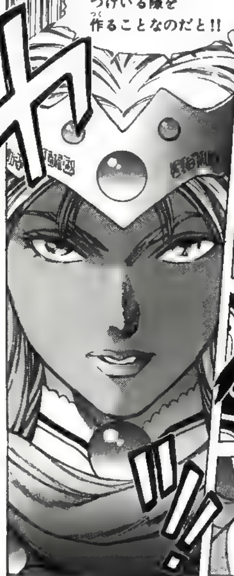
イイイイ…

――やがて肉を裂き
血の霧散する戦いの中に
その身を投じねば
ならぬ…

よいか…
記憶しておく
ことだ

キュオオオーオオ












4人はウネの術の中にいた…
ウネは夢を司る魔道女
──彼女は彼らの記憶の断片を
掘り起こすようにして
彼らの魂に近付いていった
…何故なら 彼女は
〈風〉の選んだ戦士に
何よりの武器となる「悪への憎しみ」を
植えつけなければならなかったのだ


こ…
ここは…!!


古代妖夢紀――
創造の神の化身と呼ばれた
超魔道師ノアという人物が
いた――
彼は全世界を一瞬にして
破壊できる力と…また同時に
一瞬にして緑あふれる大地に
再生することもできるという
まさに〈神の魔力〉を持っていた


だが…
数世紀にわたって
生き延びる術を得た彼にしても
やがて生命の限界を
迎える時が来た……


彼は高弟の２人を
臨終の床に呼びつけると
静かに言った……


〈風〉よ そなたには
……
すべての
我が黒魔術を


そして〈夢〉よ
そなたには……
すべての白魔術を
託すぞ


だが…


超魔道士ノアは
その数世紀に渡る生涯を閉じる時
あるひとつの過ちを犯したのだ
ゴゴゴ…
ゴゴゴゴ


たしかに ドーガとウネは
ノアの魔力をふたつに分けて
持ち合うのに十分の
知力と統率力を持ちえていた

しかし…

この2人の高弟に
師ノアの死後反旗を翻した
第3の高弟がいたのだ

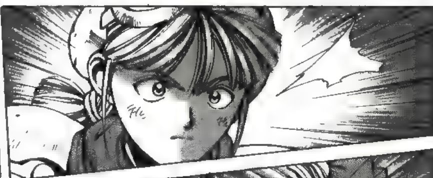
ゴゴ

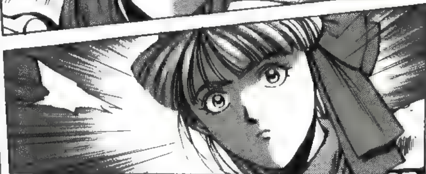
ゴボッ

ゴゴ

あ…
あいつが…
〈風〉と…あんたを…
いや…
俺たちの世界を……












地獄の底に叩き落としやがった奴なのかッ!!
ゴゴゴ
ゴゴゴ

そうよ…
戦士たち!

奴こそは…
〈大地のクリスタル〉を
邪悪に動かししもの…

〈大地のクリスタル〉を
邪悪に動かししもの!?

カ

ザンデ!!

ゴゴ
ゴゴゴ!!
ドッ
ザンデ!!
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴ


うおおお
おあああッ!!

ゴゴゴゴゴ

今行くわ……

——風!!

おおあ

風!!

メルフィ……

ウ…
ウネさん…


あなたも
いつか知るわ…
人を
愛すること…
それが…
自分の血肉を
切り刻むことにも
なるんだって……


そ…
それは
つまり…


――つまり
こういうことさ
ボウイ!


白魔術を究めた
あんたと…
黒魔術のすべてを
究めた〈風〉の…
互いに求めあい
引き合う
心の痛みを…


――奴!
ザンデが!
邪術をもって…
ずたずたに
切り裂こうと
したってことだ!

あ……

どうやら…

ドーガの黒魔術は
新しい継承者を
得たようね





——つまり
人間である以上
どのような
修業人であっても

この〈空白の巣〉
という心のすき間に
落ちた時には
もろくはかないもの
だと…

ちっ…
ウネさんよォ！

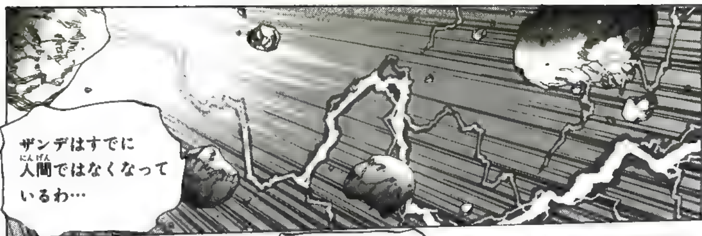
俺にゃピンとくる
話じゃねェが…

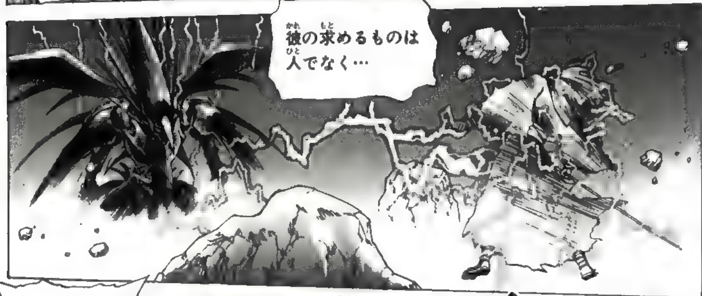
愛する…
瞬間は…

もろくはかない
……

とにかくその
ザンデってェ野郎は
かつての兄弟子たちの
弱みを突いて…
あんたらを陥れたって
こったろう？

汚ねェ奴だ！
人間のやることじゃ
ねェぜ!!





──己自身!!

ビクッ!!

ああッ!?

ウネ!!


わあッ!?
ドーガ!!
ウネ!!




か…〈風〉か？
あ…あれが
……
私たちを…
ここまで引き寄せて
きた…〈風〉!?


〈風の運びし戦士〉
よ…
いかにも
私が…
ドーガだ！


だがこの私とて
ただ〈風〉の意志を
聞き止めてきただけ
に過ぎん


か…〈風〉の…
意志…!?


すなわち
この世界の均衡を
保つべき
4つのクリスタル…
そのひとつである
〈風のクリスタル〉
のな…

我らの
できることのすべては
もはや
ここまでだ

奴に
我らの術のほとんどを
封じられた時
すでに…

我らは世界の邪悪に
抗するだけの力を
奪われていたのだ…

——悠久の時を越え
〈風のクリスタル〉が
われらに語った
ことがある…

そなたたちは
けっして神ではない
…人を慈しむ…
求める…
弱き者たちなり…

——ならばそれを
武器とすべきだと！
そして今こそ
その武器を
お前たちに
受け継いで
もらいたい!!



〈風の戦士〉たちよ
あとを…
あとを
たのんだぞ!!

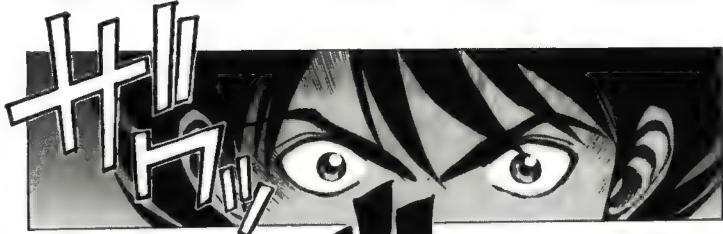





—ザンデ!


あいつ…
あいつが…ッ!!


あ…ああッ
……



うあああお
おおおお
おおッ!!

ゴゴゴゴゴ



おッ…
おい!



うおあああ
あああああッ

うおあ

あおォ

おあああお
おああああ!!

ム…

あォ

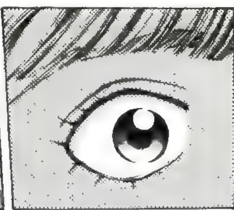
おふッ

ムウ…

何が見える!?
怖いのか!?
いったい何が
見えてるんだよォ
ムウチ!!

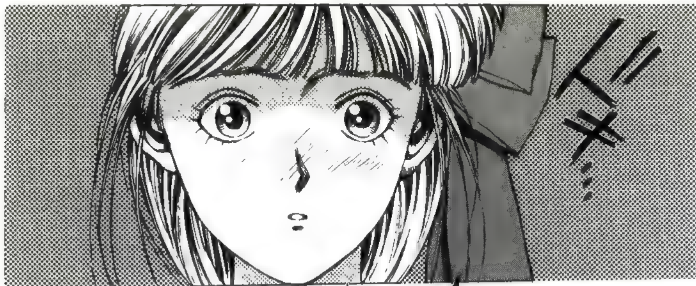
ムウチ!
どうしたってんだ
ムウチ!!

ええ？
ムウチ!!









うわあッ


ガ
シュ
オオォオ


わたし


おゥ!!
とにかく今ムウチは戦える状態じゃない俺たちだけでやるぜ!!
ドドッ


ここでムウチを守ってみせるわ――必ず!






だめ


うッひょお〜ッ
出た出た
まとめて
出やがったあ!!
ち




ヤ


ズオーオォオ


———ザコは
ひっこんでな
ひゅるるる〜っ



おもしろいじゃ
ないの……

どんどん…

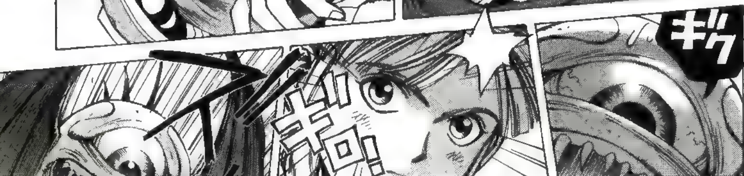
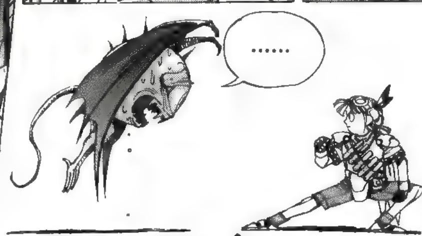
かかって
来なさーいッ!

悠久の時を越え
〈風のクリスタル〉が
我らに語った
ことがある…

そなたたちは
けっして神ではない……

人を慈しむ…
求める…
弱き者たちなり

ならばそれを
……
武器とすべき
だと！


武器と
すべきだ
と!!

ギク
ギロ!

……

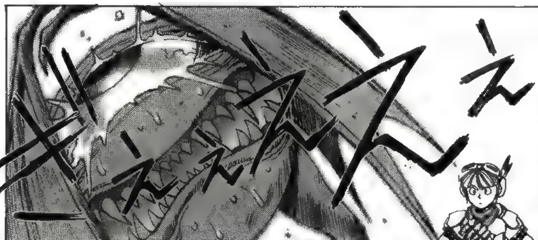
すげェや
J・ボウイ!
メルフィ!!
まるで〈風〉と〈夢〉
…あのふたりの力が
乗り移ったみてェだ!!

目つぶし
!!

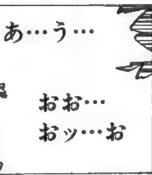


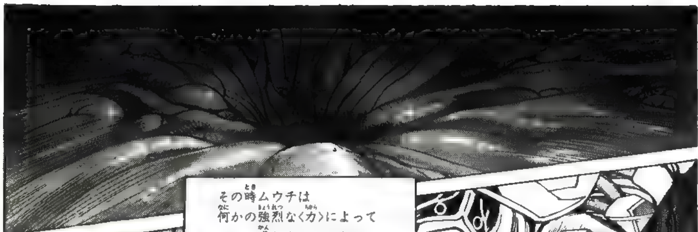


にん!
きめっ!

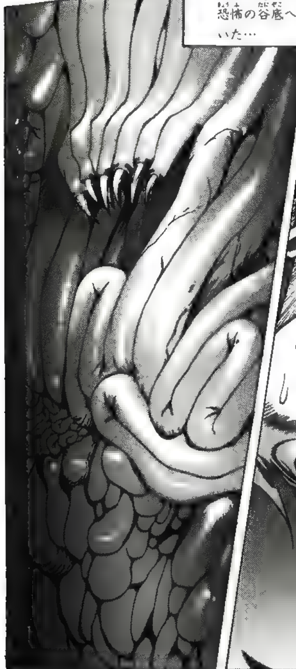


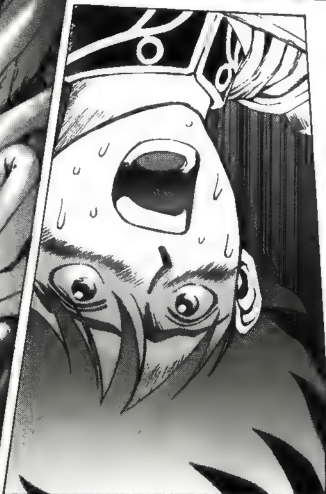



あ…う…
おお…
おッ…お




その時ムウチは
何かの強烈な〈力〉によって
かつて感じたことのない
恐怖の谷底へと落ちて
いた…
まッ……
魔界…!?








ゴゴゴ
ゴゴ
ゴ
ゴ
ああああ
あああああッ
まッ…魔術をッ
……
封じ込めようと
してやがる…ッ!!
そッ…
そんなあ〜
ッ!!

てててッ……

あ……
あれは…!?

でッ

ゴゴゴゴ





ゴゴゴ
ムウチ!?
ゴゴゴ

ゴゴゴゴゴゴ

ぐ…ぐわおお
おおおおおッ

おのれ…ッ
シヴァ…
イフリート!!






見させて
もらったぜ
………
地獄をよ!


じっ…
地獄…!?


"魔界"だ
……
死神の世界だ!!
邪気と怨念の
渦巻く……


そ…
それでお前
……
らしくもなく
泣いてやがった
のか……!?
だからといって
メルフィと見つめ合う
必要はなかった
絶対なかった
ボッ
ボッ


——そうだよ
それにどうして
シヴァと
イフリートの奴が
……
あん時奴ァ何か下心が
あったにちげぇねぇですぜ
いや絶対そうださダンナ
目ェ見りゃワカルいやホント
ボッ
ボッ
ボッ
変な
言葉使い
するなッ


でもなぜ？
なぜ
この期におよんで
魔界に…!?




ザ!!


シヴァ！
イフリート！
そいつを倒すんだ
!!
魔界の邪悪という
邪悪をかき集めても
その野郎の邪悪にゃ
かなわねェ!!

——召喚魔術だ

引き裂け!

引き裂くんだ!!

え?

——ああ……

ムウチ…どうやらお前…召喚魔術を手に入れたようだな…

ぐわおおおおおおッ!!

ビョオオオオ

——よおし
シヴァ!!

そいつを
凍らせち
まえ!!

ゴゴ

ゴゴゴ

ビビ

ビビビ

ゴゴ

おおおッ…
おのれえ
シヴァ!!

ゴゴ

ゴゴ

——分かんねェ

なぜ俺がこの魔術を
手に入れたのか…

だけど多分
奴に…

このザンデの野郎に
やられちまった
〈風〉と〈夢〉の２人が…

もちっとバシッと
しろって…
ヤワじゃ奴に
かないっこねェんだ
…って

この俺に
地獄を見させやがっ
たんだと…思う！

そうだね
……

うん…
そう…

そうだと…
思う…

———なんだかとても
泣きたい気持ちになった…

“愛する瞬間は
もろくはかない”
……

涙でにじんだ
ムウチの横顔が
少しだけ……

だけど
だからといって
邪悪に負けちゃ
いけないんだ!!

少しだけ
大人びて見えた……

ムッ…
ムウチ!?

ぐおおあ
ああおおッ

おのれェ!!

そうか…
魔界から魔人を
召喚できる魔術
……だがその痛みは
ともに味わわされるってことか…

ぐ…
ぐおッ…
おお…お

ふふふははははははははは!!
無駄だ無駄だ

メルフィ！
ムウチの
治療を…!!

わかった！

いッ…
いらねェよ
大丈夫さ…

——それより
見な！
ザンデの野郎を!!

ザシッ!

ああッ!?






世界そのものである
我に…
何を刻めると
いうのだ!!
ふふははは
ははは
おろかなもの
たちよ…
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ

ぐぎいい
いい…ッ

こ…
これまで
かッ…!!

うわあッ!!

ガッ!!

ううッ…!!


ム……
ムウチ…




この時メルフィは
これまで張り詰めてきた気持が
急激に失せていく感覚に
とらわれていた…


——はじめての感覚だった…
だが その感覚が
いつ芽ばえたものなのか
彼女は はっきりと自覚して
いたのだった

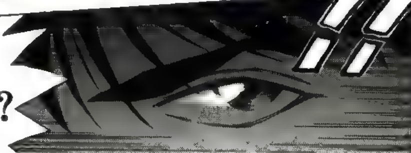
あの時ほど…恐怖に怯えたムウチを
見たことがなかった……
そしてあの時のムウチほど
自分の奥底にまで入り込んでくる存在は
かつて出会ったことがなかったのだ……





こ…これが…
〈空白の泉〉(ニエ・デ・トワラ)
………!?









ふッ…2人が
私たちを攻撃して
くるなんて……
そんな…バカな!!

〈風〉…〈夢〉…
2人が再び一緒になる時
…それはザンデの前で
全ての力を失うことを
意味していたのか!!

そ…それじゃ
ザンデに
操つられて…!?


ムウチ!!
うおおお
おあああ!!
ザンデを倒すにゃ…
まずあんたたちを…
乗り越えなきゃ…
倒さなきゃいけねェん
だな……
だからこの俺に…
ち…そうかい…
分かったぜ
〈風〉…〈夢〉…!!
はっ
はぁ
はぁ
こんな邪術を
与えたッ!!

何てことするんだ
ムウチ!!
あの2人に魔人を
差し向けるなんてッ!?

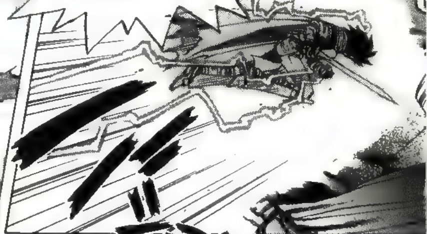
ごあああ
あおおおッ

しょうがねェ
だろうが
バッキャ
ロォ!!

あの2人は
こうなることを
知ってた……

自分で
望んだんだ!!

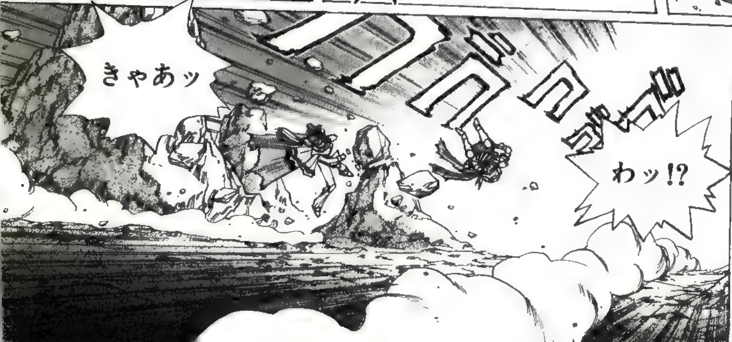
愛を武器とするにはよォ…心が…うんとタフじゃなきゃいけねェ…
そう言ってあの2人は…
命がけで俺たちにハッパかけてんだぜ!!
強くなれねェでどォすんだよォ!!!
――生きなきゃな……俺たち…
うん……
この世界に大切なもの…いっぱいあるもの！
うん！生きなきゃ！
めいっぱい強く！


うおおお
おおおッ!!


いくぜェ
ザンデ!!




!?


わッ!?
きゃあッ



——いかんッ
ムウチ!!
おろか者(もの)め……



ム…ムウチ!!
ボウイ!!

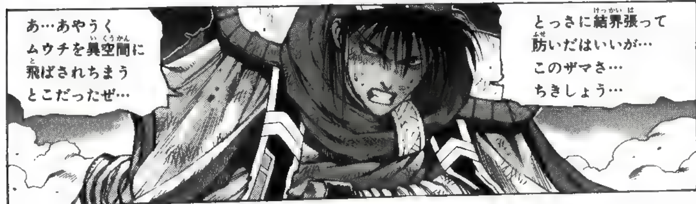


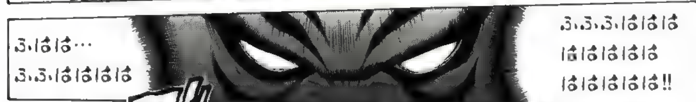
ゴゴゴオオオ



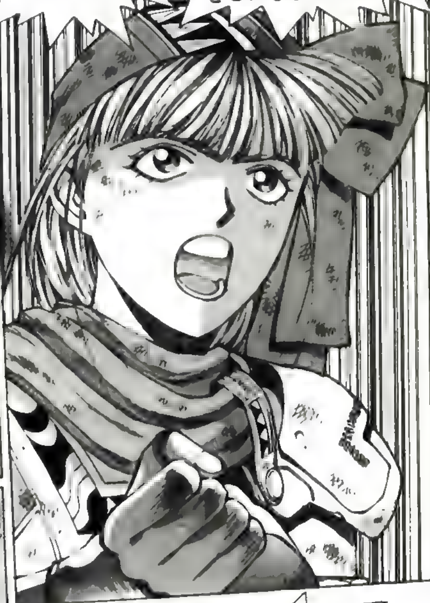



ムウチ！
ボウイ!!


あ…あやうくムウチを異空間に飛ばされちまうとこだったぜ…
とっさに結界張って防いだはいいが…このザマさ…ちきしょう…

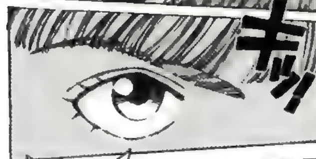

ふはは…ふふははははは
ふふふははははははははははははははは!!


あきらめろ！
お前たちに勝利はない!!









かけがえのない
この世界を

ゴッ

守って
みせる!!

ゴ

ドァ!!

逃がしゃ
しねェ!!

そッ…
そうさ…

バ

シュオォ

逃げない
かわり……

あなたも
逃がさない
わよ…

ゴゴ

バチッ

バチチッ!

ゴゴ

ゴゴゴゴ

いくぜェみんな!!

幕を下ろすのは俺たちさ！

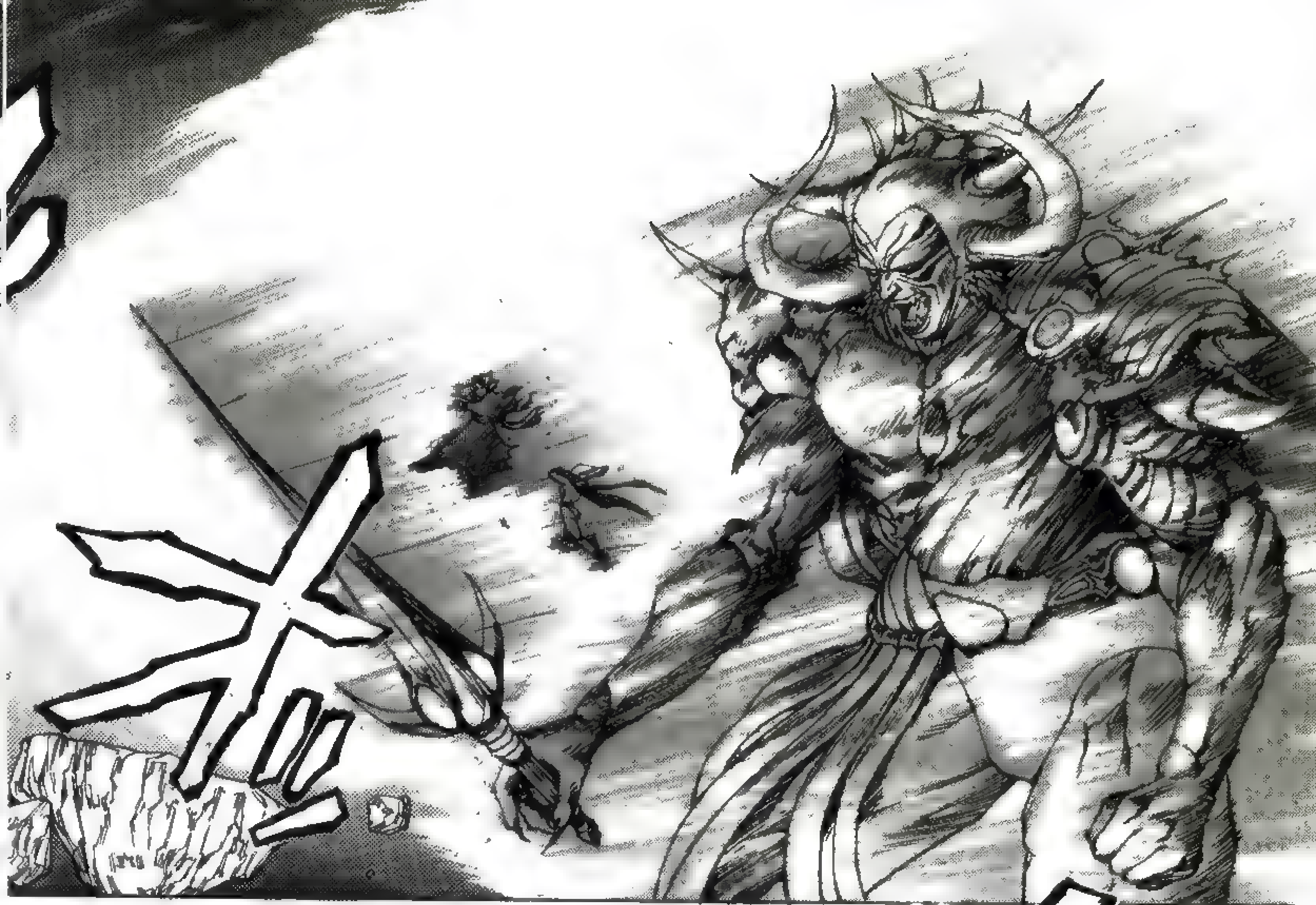
あっったり めェよォ!!

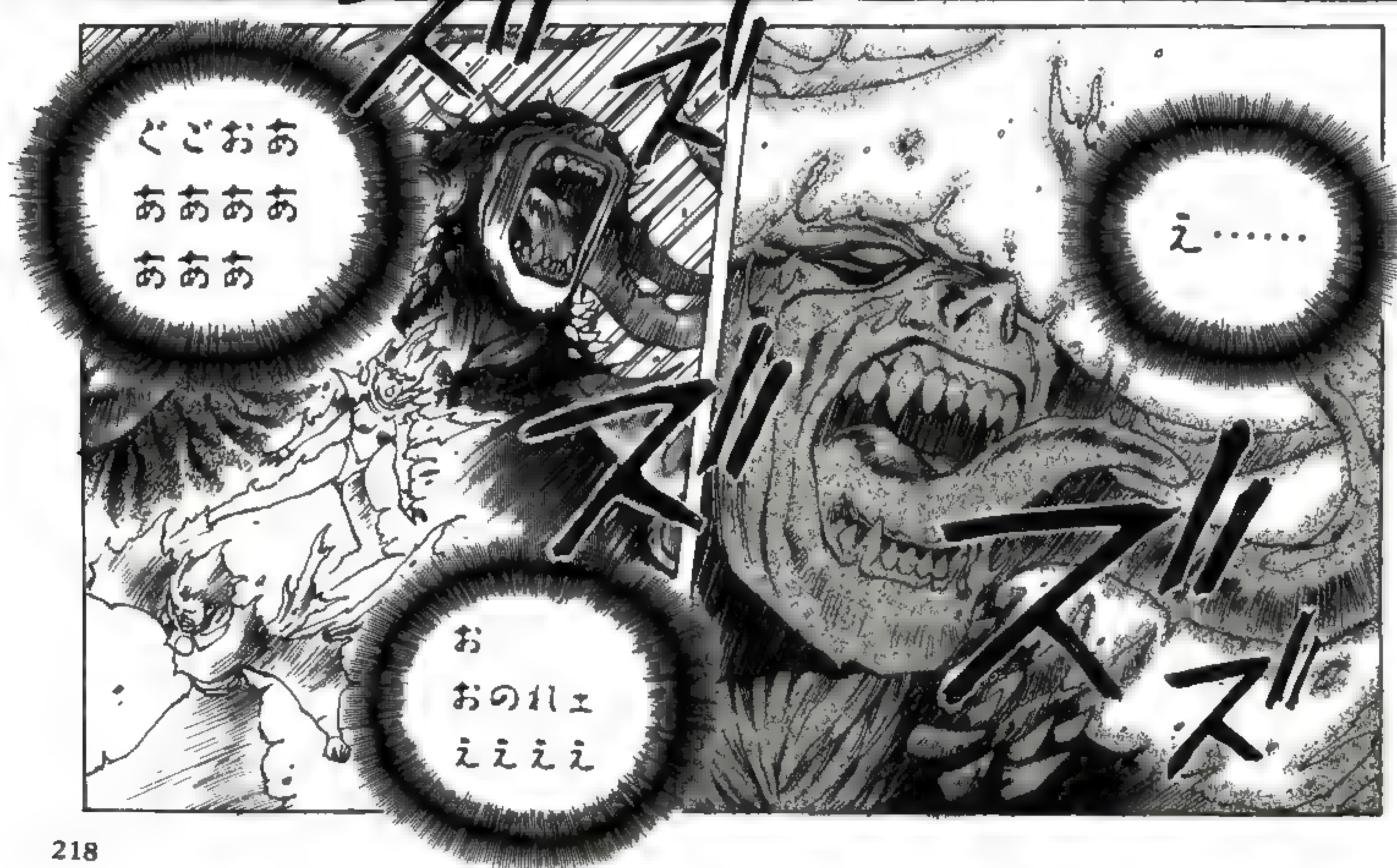
〈風〉…〈夢〉……
いろいろ世話ンなったな……

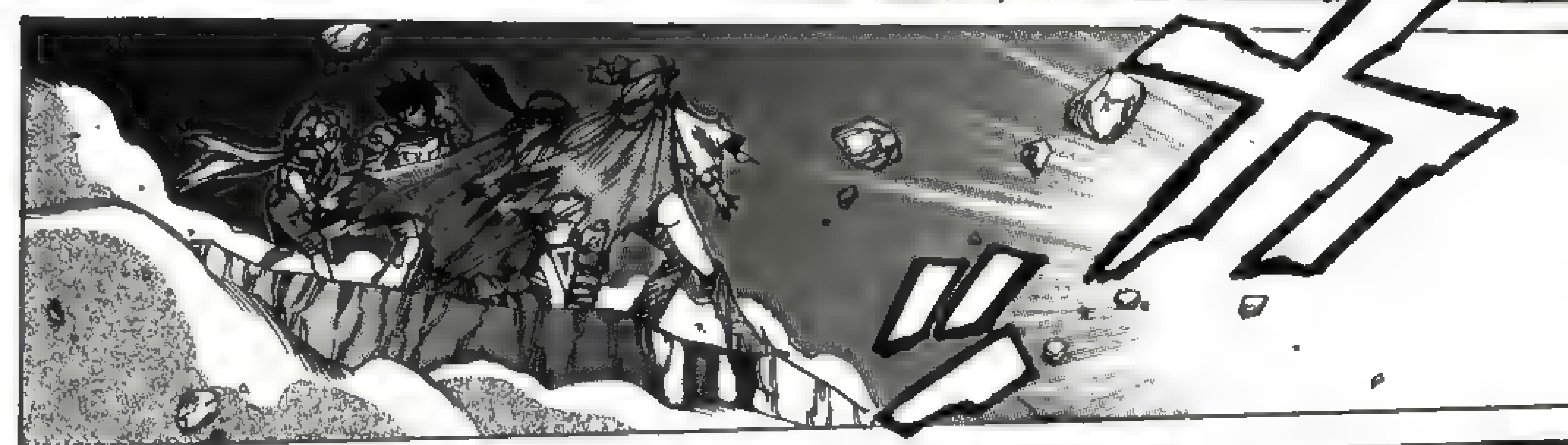
これが俺たちの感謝のしるしさ……

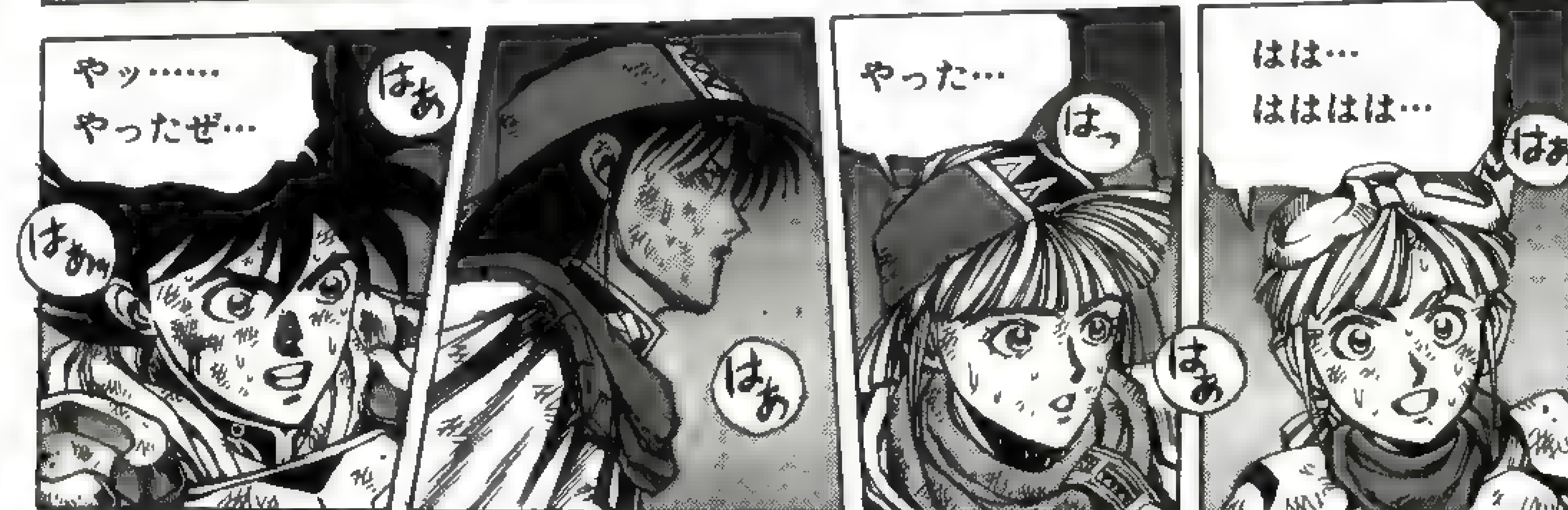
おォ！


受け取って
くれ!!




ぐごおあ
ああああ
あああ
え……
お
おのれェ
えええええ




やッ……
やったぜ…
はぁ
はぁ
はぁ
やった…
はっ
はぁ
はは…
ははははは…
はぁ



ヘッもう
ひとかけらの力も
残っちゃいないぜ
……

そ…
そんな……

ちッ…きしょお
まだだッ…

俺たちァまだ…
生きてるんだッ…

ふふははは
言ったはずだぞ
……

い———ッ
はははははは
ははははは!!

無だ!!
無だ!!
無だ!!

お前たちに
勝利はない!!

無だ!!

全てを
無とする
のだッ!!!

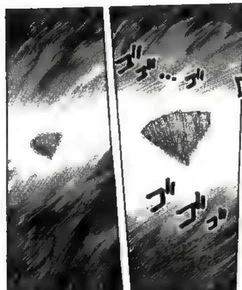

!?
まッ…
まさかッ…
ゴゴ

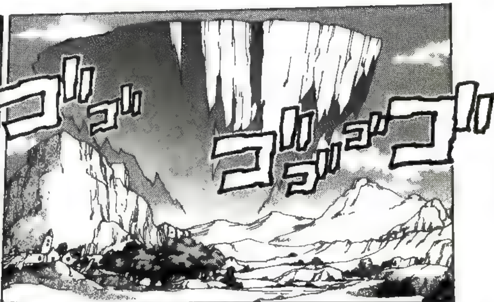

せッ…世界が
この…この
ザンデに…!?
ゴゴ
まさか…
まさか…
ゴゴ
まさかッ
……

なぜだ!!

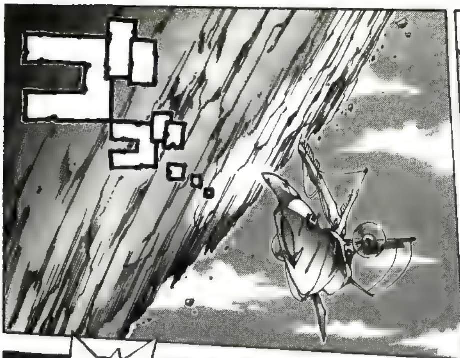












浮遊大陸は母なる大地へと帰り
やがて世界は
もとの均衡を取り戻した…

最高の
小僧どもじゃ

わっはははは
はははは!!

――行くのか

ん……








いろいろ ありがとな
元気で


ううん… 私の方こそ ……
感謝 しきれない くらい！
ギュ…


背…… 少しのびたね


そッかあ？


メルフィ 行くってよォ!!
おォ〜い
ギク


ええッ！ 行っちゃうの かい!?
ザザッ

———じゃあ
またね……
みんな！

バイバイ

メルフィ……

さ——て
…と！

ここらで
ひとまず俺たち
も……

かな？

———同感だ
俺は西へ行く

ええッ!?
ちょ…
ちょっと…

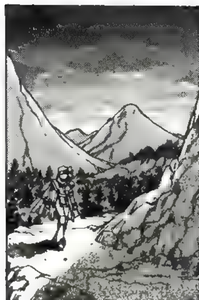
じゃ俺は
東だ


ガッ


ああ…
……
たっしゃでな！


だけど…だけどさ……
ちェ…なんだいなんだいみんな…


またいつかどっかで会えるよな…
きっとさ……

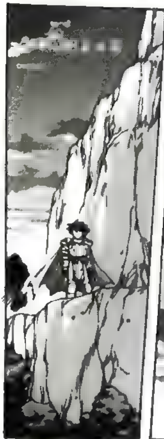


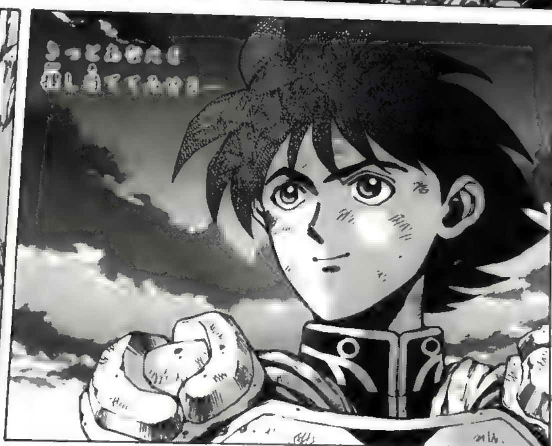

私は本当は
ただの淋しがり屋
女の子だ…
つっぱって見せてるのは
そうしてないと
立ってることさえ
シンドイから…




眠っていられたら……
だけど……
そんなことをしたら
もう二度と立ち上がれない


ナマイキな顔
作れるように
なったら…






完



でぶ CHOCOBO となかまたち
チョコボ
ムウテ
メルフィ
サリア
ゴールデンネイ
きぬたに・ゆう
ぼくはチョコボ 飛べない鳥さ 少し太り気味だから 「でぶチョコボ」って 呼ばれてるぞ エヘン!
こう見えても 妻も子もある 立派な所帯持ちだぞ エヘン!
!!
ピピューッ
あ……あいつらだ! くッそ〜〜〜 こんな所で会うなんて!!
ザッ
ぼくはあいつらが大ッきらいなんだ!



あいつらは 意味もなく ぼくを 追いかけ回すし
チョコボちゃ〜ん
あはははは はははは
あいつは何を 考えてるんだか さっぱり わかんないし
ど…… どうも…!
ポン
元気そうだね…



どッ…どうか 見つかりませんように…
ぼくはチョコボじゃないよ ぼくは木だよ



チョコボちゃん!!
ドッキ〜ン!!
#



メルフィちゃん… このコだけは ちょっと好きだ
何言ってんの たいへんなのよ!!
し〜っ し〜っ
はッ!

チョコボだ――っ!!
わははははははははは
ちょっと
あんたたち
やめなさいよッ

奥さんと子どもが
ドラゴン三兄弟に
襲われてるのよッ
!!

へ?

ヘッヘッヘ
だからよォ
俺たち ちいっと
こづかいが欲しい
だけなんだよォ
えェ!?

やめねーか
この野郎!!

!?

ジャン!!

なんだなんだ
てめーらはっ!!

あ……
あんたァ!!

ボウイっ

うむ

BOMU!

はッ!

いっちょ
上がりね

……

あんた!

おまえ!

ひしっ

あははははは
良かったなァ
お前たち

!

ぼくはなんとなく
彼らを誤解して
いたようです……

……

――やっぱしこいつら
大ッきらいだ～～～っ!!

チョコボだ～～っ!!
あははははははは

あんたたち
やめなさいッてば
!

いけねーよ
メルフィ
オレなんかに
ほれちゃ

Ⓒファミコン4号付録「ファイナルファンタジー＆SaGaパーソナルファンブック」(91.2.22売り) 収録分より

原作	寺田憲史	KENJI TERADA
作画	衣谷　遊	YŪ KINUTANI
設定協力	藤田一己	KAZUMI FUJITA
スタッフ	保谷野隆	TAKASHI HOYANO
	松浦まさふみ	MASAFUMI MATSUURA
	宇都宮伸幸	NOBUYUKI UTSUNOMIYA
	大野旨郎	SHIRŌ ŌNO
	松岡英樹	HIDEKI MATSUOKA
	矢上　裕	YŪ YAGAMI
	小野広喜	HIROKI ONO
	鈴木成明	NARUAKI SUZUKI
編集	甲田秀昭	HIDEAKI KOUDA
	羽根正人	MASAHITO HANE

ドラゴンコミックス



悠久の風伝説③
ファイナルファンタジーIIIより

悠久の風伝説③ファイナルファンタジーIIIより

原作――寺田憲史
作画――衣谷遊

1992年9月10日　初版発行

発行者――角川春樹
発行所――株式会社角川書店



〒102　東京都千代田区富士見2-13-3
電話03-3817-8521(営業) 03-5228-1731(編集)
振替口座　東京③-195208

装幀――朝倉哲也＋design CREST
印刷・製本――大日本印刷株式会社

初出／㈱スーパーファミコン1991年第15号～1992年第9号
落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

ISBN4-04-926037-9 C0379
Printed in Japan